



令和6年11月27日
附属病院総務課
附属市民総合医療センター総務課

令和5年度の医療安全管理の取組について

公立大学法人横浜市立大学附属病院（金沢区福浦3-9、病院長 ^{えんどう} 遠藤 ^{いたる} 格、病床数671床。以下、附属病院）及び附属市民総合医療センター（南区浦舟町4-57、病院長 ^{たむら} 田村 ^{こういち} 功一、病床数696床。以下、センター病院）の、令和5年度における医療安全の向上に向けた取組について、お知らせします。また併せて、医療事故、インシデントの件数についても、お知らせします。

（※医療事故、インシデントの定義については別添資料「令和5年度の医療安全管理の取組について」をご覧ください。）

1 主な医療安全の取組について

横浜市立大学附属2病院では、1999年の医療事故を契機に、他の医療機関に先駆けて医療安全管理部門を設置し、医療安全に取り組んで来ました。医療安全管理に資する情報共有、組織安全文化の醸成、組織横断的な取組の推進、感染制御、医療情報との連携を図り、より質の高い安全な医療の提供を行える体制の構築を目指しています。

令和5年度の主な医療安全の取組については次のとおりです。

(1) 附属病院

① 患者確認強化月間の取組

当院では例年1月を「患者確認強化月間」としています。当院で発生した患者取り違い事故から25年が経過し、改めて事故の教訓を風化させないため、ポスターの掲示や患者確認を啓発するシールの配布、院内放送、院内巡視、患者へのアンケートなどを実施しました。

② 一般病棟における生体情報モニタ監視体制の強化（拡充）

職員の少ない夜間帯に異常の早期発見ができるよう、生体情報監視モニタアラームや生体情報波形を常時確認できるようにするため、小児科、感染症病棟を含む4病棟にモバイル端末を導入しました。令和4年度に続き令和5年度は重症度の高い病棟を優先して拡充し、現在9病棟に設置しています。

また、生体情報監視モニタの7項目（早期警告スコア）の数値をモニタリングし、遠隔ICUにて1日2回中央監視を行い、点数の高い患者に対しラピッド・レスポンスチーム（※1参照）が院内の巡回を実施しています。

③ 薬剤の誤投与/過量投与時の対応マニュアルの策定

内服薬の誤投与による死亡事故をまとめた医療事故の再発防止に向けた提言第15号を受け、院内における誤投与/過量投与が発生した際の初期対応をまとめた院内マニュアルを策定しました。従来は対応者の知識や経験年数により対応にバラつきがありましたが、対応フロー図を明示したことにより、行うべき初期対応が明確になりました。

※1 ラピッド・レスポンスチーム

医師(集中治療部・救急科・麻酔科)・認定看護師や特定行為研修修了看護師が専門的な知識を持ち寄り、病棟で全身状態が悪化するリスクのある患者さんに対して、早期発見、早期介入を行い、医療の質の向上を目的としている専門チームです。

(2) センター病院

① 医療安全管理のマニュアルの改定

最新のエビデンスや病院機能評価受審(※2参照)を踏まえ、「アナフィラキシーショック状への初期対応」、「カラーシリンジの使用の取り決め」、「血管外漏出」等の院内規定を改定した。

② 医療安全講演会の開催

院内全体の医療の質、医療安全向上を目的に、医療の質改善の取組等をテーマに、令和5年度は内部・外部講師による講演会を3回開催しました。

③ B型肝炎ウイルス(HBV)再活性化対策

HBV再活性化(※3参照)に関し、院内で明確な規定が存在していなかったため、ワーキンググループを組織し、事前のリスク評価から治療後のフォローを含めた院内規定の策定・体制整備を行いました。

④ 放射線読影について

放射線画像の専門医による読影は、正確な診断プロセスにおいて極めて重要なことから、「放射線読影レポート作成率」・「翌診療日までの放射線レポート作成率」の改善を目的に、読影優先順位の変更、必要性の低い検査の削減、外部検査の推進をしました。

※2 病院機能評価

病院機能評価は、病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構(以下「評価機構」)が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行い、評価を通じて病院の質改善活動を支援する取組です。

※3 B型肝炎ウイルス(HBV)再活性化

HBV再活性化は、HBV現感染者や既往感染者において免疫抑制・化学療法などを行った際にHBVが再増殖するもので、時に重大な転帰につながることがあります。

2 即時公表となった医療事故等の件数(過去5年間)

横浜市立大学附属2病院医療事故公表基準に基づき、医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、それが死因となった場合、もしくは「永続的な障害や後遺症が残る」等、患者さんに相当の有害な結果を生じさせた場合には即時に公表することとしています。

令和5年度は、該当する案件はありませんでした。

年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
附属病院	1件(※1)	0件	0件	0件	0件
センター病院	0件	0件	0件	0件	0件

(※1) R1.10.24(記者発表)：コンピュータ断層撮影(CT)の診断結果の確認不足による動脈瘤の適切な治療の機会を逸した医療事故について

3 一括公表となった医療事故等の件数（過去5年間）

横浜市立大学附属2病院医療事故公表基準に基づき、医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、濃厚な処置や治療を要した場合には、一括して個別事例を公表しています。

令和5年度は、附属病院は該当なしで、センター病院で1件の案件（同意が得られず非公表）が該当しました。

年 度	H31・R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
附属病院	1 件	3 件	1 件	2 件	0 件
センター病院	1 件	0 件	0 件	2 件	1 件

4 インシデント報告件数（過去5年間）

インシデント報告は、大きな事故に繋がりにかぬ小さいリスクも敏感に捉え、改善に活かそうとする病院職員の意識の表れでもあります。（インシデント報告件数の7割以上は、国立大学病院長会議のレベル分類に基づくレベル1（※4参考）に該当するものです）

インシデント事例は、内容の検討を通じて病院内への注意喚起等を行っているほか、医療に係る事故の発生の予防及び再発の防止に資すると考えられる警鐘的な事例については、日本医療機能評価機構への報告を通じて公表しています。

※4 レベル1

患者に実施され、患者への実害はなかったが、何らかの影響を与えた可能性はあるものです。

年 度	H31・R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
附属病院	5,284 件	5,665 件	5,853 件	5,758 件	5,519 件
センター病院	8,302 件	7,826 件	7,538 件	6,877 件	7,039 件

YCU
横浜市立大学

お問い合わせ先		
附属病院 総務課長	友田 安政	Tel 045-787-2804
附属市民総合医療センター 総務課長	藤本 剛	Tel 045-253-5302

令和5年度の医療安全管理の取組について

令和6年11月27日

公立大学法人横浜市立大学

附属病院

附属民総合医療センター

目 次

I	主な改善検討事例	1
II	入院患者アンケート調査結果	5
III	医療事故公表基準等	7
IV	インシデント報告の状況	9

(参考) 資料中での病院名の正式名称は次のとおりです。

附属病院 : 横浜市立大学附属病院

センター病院 : 横浜市立大学附属市民総合医療センター

I 主な改善検討事例

1 附属病院

	検討項目	改善検討内容
1	転倒防止を目的とした病棟シャワー室の改修	一部病棟のシャワー室には可動式ミストシャワーが設置されていたが、分解清掃が困難で衛生上の管理ができないこと、手すり代わりに掴むと体重を支えられず倒れる危険があることから、設備を撤去した。
2	緊急コールバッグへのビデオ喉頭鏡搭載	院内急変に駆け付ける医療スタッフが持参する緊急コールバッグにビデオ喉頭鏡を搭載した。ビデオ喉頭鏡では、喉頭鏡先端のカメラ映像を液晶画面で確認でき、呼吸の補助のための気管挿管が従来より容易かつ確実に行えるようになった。
3	薬剤の誤投与/過量投与時の対応マニュアルの策定	日本医療安全調査機構が発行した「医療事故の再発防止に向けた提言15号」を参考に、「薬剤の誤投与/過量投与発生時の対応マニュアル」を策定した。従来は医師により対応にバラつきがあったが、薬剤の種類により3段階に分けた対応フロー図を明示したことにより、行うべき対応が明確になった。
4	血管造影室で使用する抗がん剤の搬送経路変更	抗がん剤は毒性が強いため取扱いに注意が必要である。血管造影室で使用する抗がん剤は、従来薬剤部から病棟へ払い出しされ、病棟から血管造影室へ持ち込む運用となっていたが、薬剤部から血管造影室へ直接搬送される経路へと変更した。
5	医師の当直引継ぎ時の患者情報共有機能の充実	当直医が院内の重症患者を容易に確認するために、電子カルテの機能(チーム患者一覧機能)を利用している。患者検索・抽出機能の拡充改修を行うことにより、患者把握の利便性を向上させた。
6	救急カートの取り間違え防止のための色別導入	緊急時に使用する薬剤・機材を搭載する救急カートには「成人用」と「小児用」があるが、カートの外観が同じで区別がつけづらかった。緊急時でも取り間違いが起らないよう、色の異なるカートを購入し色で認識しやすく改善した。
7	一般病棟におけるモバイル端末を用いた生体情報モニタ監視体制の強化	夜間帯、ナースステーションに看護師が不在になると、心電図など生体情報のセントラルモニタのアラームの覚知が遅れる危険性がある。令和4年度は小児科病棟、感染症病棟に電子カルテカートにモバイル端末を設置した。令和5年度はモバイル端末の設置病棟を内科系病棟、外科系病棟にも拡大した。
8	患者確認強化月間の取組	当院では例年1月を「患者確認強化月間」としている。患者取り違い事故から25年が経過し、事故の教訓を風化させないように、ポスターの掲示、患者確認シールの配布、院内放送、院内巡視、患者へのアンケートを実施した。
9	アナフィラキシーショック(重篤なアレルギー)への対応マニュアルの改訂	アナフィラキシー(重篤なアレルギー)発生時の対応が示された学会等のガイドラインが改訂された。それに合わせて、院内での薬剤投与量ルールの見直しや投与時の設備・環境要件をマニュアルに明記し、院内に周知を行った。
10	小児の医薬品適応外使用の申請・承認方法の見直し	国から承認された方法以外での医薬品使用(適応外使用)が治療上必要になった場合、厳密な審査を院内で行い、承認された場合のみ使用することとしている。小児に対しては、承認はされていないが使用によるリスクが低い適応外使用については、小児科医師と相談し、申請・承認方法の見直しを行った。
11	難易度が高い手術を行う際の確認事項の追加	当院で初めて実施される難易度が高い手術は、当院では厳密な審査を行い、承認された場合のみ行うことができる。患者の安全を向上させるために、承認された条件で手術が行われていることを一定期間追跡・確認できる体制を構築した。

2 センター病院

	検討項目	改善検討内容
1	医療安全マニュアルの定期改訂(第16版)	項目ごとに担当部署を整理し、各所管で内容を確認し検討した。また血管外漏出の項目については部署横断的にワーキンググループを立ち上げ検討し改訂した。(2024年4月1日付)
2	口頭指示表の改定	附属病院で使用されている口頭指示表をもとに、単位数の明記と指示入力を確認する運用とし、口頭指示票を併せて改訂した。(2023年9月改定)
3	必要時指示と頓用薬指示の定義を決め、医療安全マニュアルの改訂	ワーキンググループを立ち上げ、指示の出し方、受け方について検討した。シンプルな指示を目的に必要時と頓用薬の定義を決め、医療安全マニュアルに明記した。(2023年10月改訂)
4	身体拘束の適応基準の明確化および医療安全マニュアルの改訂	ワーキンググループを立ち上げ、適応基準を検討した。新規の適応基準を含めたテンプレートを作成し、マニュアルの改訂と併せて、運用を開始した。説明動画を作成し、周知に活用した。(2023年10月改訂)
5	薬剤の血管外漏出時の対応の見直し	最新の指針等が改訂されていることを踏まえ、薬剤の血管外漏出時の対応に関するワーキンググループを立ち上げ、院内の初期対応方法について検討した。検討内容に基づき、医療安全マニュアルを改訂した。(2024年4月1日付)
6	RRS(Rapid Response System)運用マニュアルの作成	RRSの運用フローを含めた、運用マニュアルを作成した。(2023年12月策定)
7	精神科リエゾンチームマニュアルの作成と要綱の改訂	精神科リエゾンチームの運用マニュアルを、独立したマニュアルとして策定した。それに併せて、依頼フロー図を作成し、要綱も改訂した。(2023年12月)
8	医療安全管理指針の全面改訂(第16版)	年1回の見直し規定に則り、医療安全管理指針を改訂した。(2024年4月1日付け)
9	安全ポッケ(第7版)の全面改訂	構成を検討し、高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等の申請についてを追加、他の項目は医療安全マニュアルに則り改訂した。(2024年4月1日付け)
10	禁忌薬剤入力画面のシステム改修	電子カルテの患者基本情報への、禁忌薬剤入力において、3文字検索機能を前面に設定することで、より確実にアラートと連動できるようにシステムを変更した。
11	インシデント報告 簡易入力様式の追加	【オカレンス報告】【血管外漏出】を追加し、運用を開始した。
12	WHO世界患者安全の日(9月17日)のイベント開催	センター病院と附属病院の共同で、世界患者安全の日(9月17日)に合わせて「知って得する！病院の上手なかかり方」をスローガンに、患者や市民向けの安全な医療の実現に向けたイベントを開催した。

	検討項目	改善検討内容
13	患者確認徹底の取組	重点課題項目として、各診療科が患者誤認防止対策を年間目標として立て取組んだ。看護部対象に患者確認手順を再周知し、各部署で監査を2回/年実施した。課題を抽出し各取組を行った。監査結果から課題を抽出し、各部署で患者確認のロールプレイの実施や注意喚起目的の標語を掲げ毎朝唱和するなど、行動を習慣化することや患者確認への意識を高める取組を行った。
14	医療安全啓発動画 第3弾「本人確認たった1つの理由」を作成・公開	患者確認について、患者参加を促す動画を作成し、各病室のベッドサイドテレビとホームページで公開した。
15	死亡退院入力用テンプレート使用推進	令和3年度から令和5年度まで死亡退院入力用テンプレートの使用推進として、テンプレートの使用状況、使用方法、漏れなく記載できるメリットを各委員会で周知および診療科面談や医師への個別連絡を実施した。死亡テンプレート使用率は80%前後を維持するまで向上し定着した。
16	死亡診断書のD文書利用の推進	システム担当の協力で、利用可能端末が増加したことにより、利用率が80%前後で推移している。適切な死亡診断書記載を目的とし、内容のレビューを毎月実施し、各診療科へ不足部分をフィードバックした。
17	当直帯での他診療科、多職種連携強化	救急外来での急変事例を受け、事例検討会を開催し、多職種で事例の振り返りと課題の抽出、対応策について検討した。救急外来での連携について、関係各所との協議を実施。応援体制について整備し、周知した。
18	浴室の運用を変更	全病棟の浴室と脱衣室、廊下の温度を測定し、他院の対応も参考に検討した。浴槽の使用を制限し、原則シャワー浴とした。例外で浴槽使用する時は、看護師の付き添いを必須とした。
19	化学療法に伴うB型肝炎ウイルス(HBV)再活性化・再発防止対策を検討	ワーキンググループを組織し、事前のリスク評価から治療後のフォローを含めた院内規定の策定、体制整備を行った。
20	診療科部長・中央部門長・リスクマネジャーと安全管理部との個別面談の実施	47部署に実施し、年間の改善計画を作成、取組結果を報告を共有した。重点項目として、患者誤認防止対策、医療の質の向上をテーマに、臨床指標の活用と改善活動の在り方について共通認識を図った。
21	転倒・転落プロジェクトによる改善活動	転倒転落を予防するプロジェクト活動の一環として、病棟浴室の脱衣所の床材改修(滑りにくい材質への変更)を行った。(2部署)
22	医療の質・安全管理部メンバーによる安全巡回	医療安全の基本的な事項を確認すると共に、医療現場での「安全の取組み」、「困っていること」に耳を傾け一緒に考え、改善に繋げた。また、巡回者が巡回時に気付いた点を拾い上げ、現場スタッフへフィードバックした。(令和5年度:41部署訪問)
23	リスクマネジャーによる改善活動	リスクマネジャー会議内のグループワーク(計9グループ)し、1年を通じて、改善活動に取組んだ。内容を検証し、転倒転落防止に向けた取組や作成された患者確認動画等について、次年度、院内で実装する方針とした。

	検討項目	改善検討内容
24	院内医療安全情報「SAFETY EYES」の毎月発行	<p>SAFETY EYES 38号「麻薬調製時の手順を遵守して下さい！」</p> <p>SAFETY EYES 39号「注射・採血時の『神経損傷』に注意!!」</p> <p>SAFETY EYES 40号「確認しよう・伝えよう!!～出来ることと未経験のこと」</p> <p>SAFETY EYES 41号「シリンジポンプ。正しい流量設定の確認を！」(緊急)</p> <p>SAFETY EYES 42号「転倒転落の防止に向けて!!」</p> <p>SAFETY EYES 43号「Speak Up！大切にしよう、患者さんの声」</p> <p>SAFETY EYES 44号「患者が急変！家族を呼ぶ場面！あなたは慌てずに電話をかけられますか？」</p> <p>SAFETY EYES 45号「『薬剤禁忌情報』、登録できていますか？」</p> <p>SAFETY EYES 46号「過去の新聞報道から読む！やむを得ない身体拘束」</p> <p>SAFETY EYES 47号「天井からの吊り下げ式点滴棒の落下に注意してください！！」</p> <p>SAFETY EYES 48号「ハイリスクの薬剤血管外漏出時の対応が変わります！」</p> <p>SAFETY EYES 49号「『SAFETY EYES』安全を守るのはわたしたち現場の職員一人一人です！」</p>
25	チームSTEPPS研修会の開催	3回/年(96名参加)。チーム医療におけるノンテクニカルスキル向上をテーマに研修を実施した。
26	令和5年度医療安全講演会のハイブリッド開催	<p>第1回医療安全講演会「医療安全の推進に向けた、薬剤部・薬剤師の取り組み」</p> <p>薬剤部 部長 佐橋 幸子先生</p> <p>副部長 小杉 三弥子先生</p> <p>受講者:101名</p>
27		<p>第2回 医療安全講演会「病院全体で取り組む安全な業務改善、タスクシフト/シェア」</p> <p>NTT東日本 関東病院</p> <p>副看護部長 村岡 修子先生</p> <p>受講者:132名</p>
28		<p>第3回医療安全講演会</p> <p>「QI指標を活用した質改善の取り組み」</p> <p>東京医科歯科大学病院</p> <p>医療安全管理部部長/病院長補佐 工藤 篤先生</p> <p>受講者:66名</p>

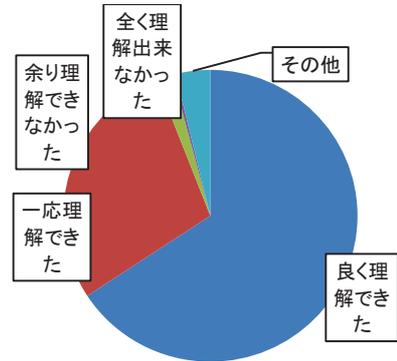
Ⅱ 入院患者アンケート調査結果（令和5年4月～令和6年3月）

※【各表について】小数点以下第2位を四捨五入しているため、見た目の計算結果が合計欄と合わないことがあります。

1 附属病院

設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

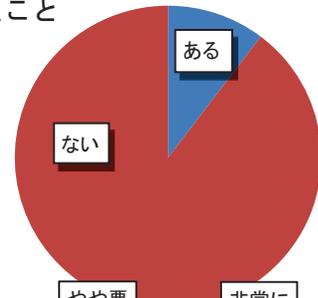
	令和5年度合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
良く理解できた	365	65.8%	74.9%
一応理解できた	157	28.3%	23.1%
余り理解できなかった	10	1.8%	1.0%
全く理解出来なかった	2	0.4%	0.0%
その他	21	3.8%	1.0%
合計	555	100%	100%



設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

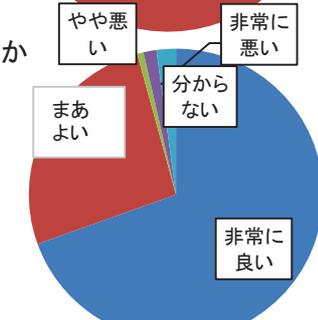
	令和5年度合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
ある(※)	55	10.3%	9.1%
ない	477	89.7%	90.9%
合計	532	100%	100%

(※) 代表的な事例：採血・点適時の医療従事者による技術不足、治療・検査・処置等に関する説明不足、院内設備や清掃に関する不満



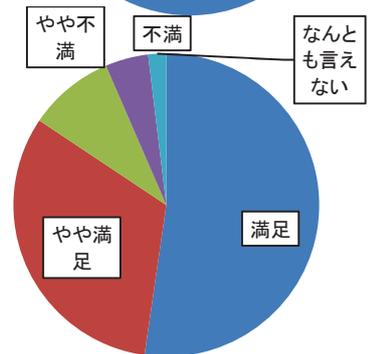
設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	令和5年度合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
非常に良い	98	69.5%	75.1%
まあ良い	37	26.2%	22.3%
やや悪い	1	0.7%	1.4%
非常に悪い	2	1.4%	1.0%
分からない	3	2.1%	0.2%
合計	141	100%	100%



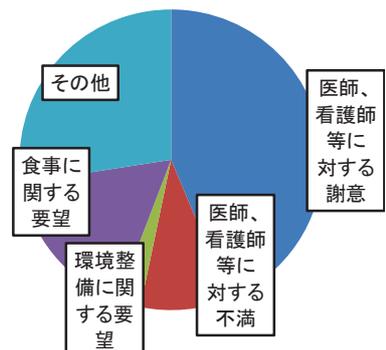
設問4 病室、トイレ、ディルーム、食事など療養環境について

	令和5年度合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
満足	275	52.3%	51.8%
やや満足	169	32.1%	31.9%
やや不満	48	9.1%	10.2%
不満	24	4.6%	3.3%
なんとも言えない	10	1.9%	2.8%
合計	526	100%	100%



設問5 その他の意見

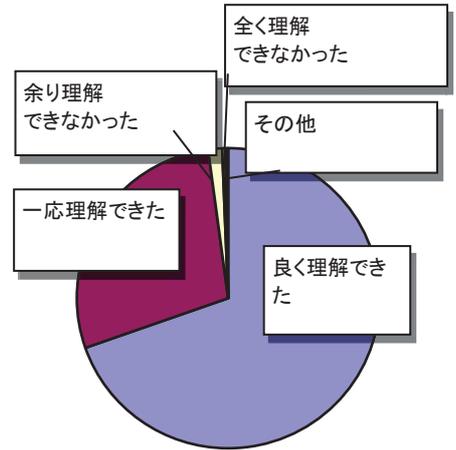
	令和5年度合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
医師、看護師等に対する謝意	261	43.7%	37.4%
医師、看護師等に対する不満	57	9.5%	7.5%
食事に関する要望	15	2.5%	2.3%
環境整備に関する要望	100	16.8%	22.7%
その他	164	27.5%	30.1%
合計	597	100%	100%



2 センター病院

設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

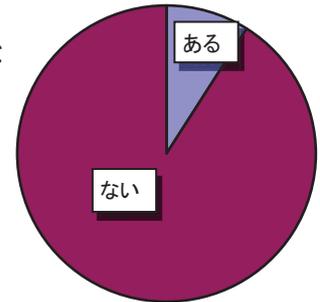
	令和5年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
良く理解できた	986	69.6%	68.5%
一応理解できた	400	28.2%	30.0%
余り理解できなかった	21	1.5%	0.4%
全く理解出来なかった	5	0.4%	0.2%
その他	4	0.3%	1.0%
合計	1,416	100%	100%



設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

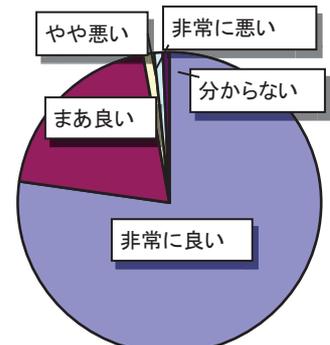
	令和5年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
ある(※)	118	9.0%	10.4%
ない	1,191	91.0%	89.6%
合計	1,309	100%	100%

(※) 代表的な事例：点滴・注射における技術不足、手術や検査内容に関する説明不足等



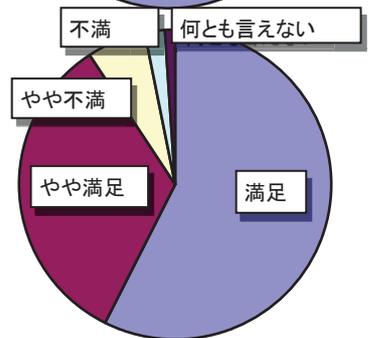
設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	令和5年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
非常に良い	1,101	77.3%	76.6%
まあ良い	284	19.9%	22.0%
やや悪い	17	1.2%	1.0%
非常に悪い	13	0.9%	0.5%
分からない	10	0.7%	0.0%
合計	1,425	100%	100%



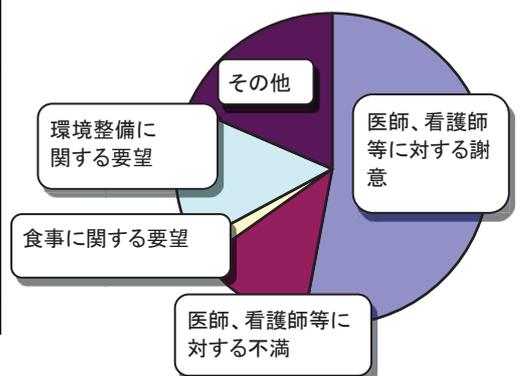
設問4 病室、トイレ、ディルーム、食事など療養環境について

	令和5年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
満足	809	57.4%	58.1%
やや満足	470	33.4%	33.0%
やや不満	86	6.1%	5.1%
不満	29	2.1%	2.2%
なんとも言えない	15	1.0%	1.6%
合計	1,409	100%	100%



設問5 その他の意見

	令和5年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
医師、看護師等に対する謝意	1,024	52.9%	45.8%
医師、看護師等に対する不満	236	12.2%	14.3%
食事に関する要望	37	1.9%	13.9%
環境整備に関する要望	280	14.5%	2.1%
その他	357	18.5%	24.0%
合計	1,934	100%	100%



III 医療事故公表基準等

医療事故の公表について

平成13年 2月16日 制定

平成29年 9月27日 改正

横浜市立大学附属病院及び同市民総合医療センター（以下「附属2病院」といいます。）は、平成11年1月の患者取り違え事故をはじめ、平成25年4月の酢酸の誤注入事故など、これまでに引き起こした医療事故の反省の上に立って、病院を挙げて医療安全管理対策を推進してきました。

横浜市立大学では、医療事故が発生した際には、その情報を公表することによって病院運営の透明性を高めることが、信頼を回復するために重要であると考え、平成12年8月に医療事故公表基準作成特別委員会を設置し、附属2病院における医療事故の公表についての考え方をとりまとめました。それに基づき、平成13年度からは、事務系責任職、附属2病院統括安全管理者、外部有識者等で構成する「医療事故公表判定委員会」にて、医療事故の公表についての審議を行い、公表を行ってきました。

その後、医療法改正による院内報告制度の義務化、日本医療機能評価機構が行う医療事故情報収集等事業の整備、医療事故調査制度の開始などにより、本学が独自の基準を持って医療事故の公表の判断を行う必要性は徐々に無くなってきました。そのため、平成28年度をもって医療事故公表判定委員会は解消し、附属2病院は「国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針」に準拠した基準に基づき、院内で公表に関する判断を行うこととなりました。その上で、院内での公表判断の適切性を、新たに設置した外部有識者等による「横浜市立大学附属2病院監査委員会」が監査することとしました。

1 医療事故の公表の意義

医療事故を公表することには、次のような意義があるものと考えます。

- (1) 医療事故の事実や改善策を院内だけでなく他の医療機関と共有することにより、類似の医療事故の再発を広く防止することができる。
- (2) 適切な判断基準を持って公表を行うことは、医療の透明性を高め、市民からの信頼性の向上を図ることができる。

2 用語の定義

本報告において使用する用語の定義は、次のとおりです。

- (1) 医療事故
 - ① 誤った医療又は管理を行ったことが明らかであり、その行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例。
 - ② 誤った医療又は管理を行ったことは明らかでないが、行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例（行った医療又は管理に起因すると疑われるものを含み、当該事例の発生を予期しなかったものに限る）。

(2) インシデント事例

- ① 医療に誤りがあったが、患者に実施される前に発見された事例。
- ② 誤った医療が実施されたが、患者への影響が認められなかった事例又は軽微な処置・治療を要した事例。ただし、軽微な処置・治療とは、消毒、湿布、鎮痛剤投与等とする。
- ③ 誤った医療が実施されたが、患者への影響が不明な事例。

3 医療事故の公表基準

附属2病院は、次の基準該当する医療事故が発生した場合には、患者さんと御家族の同意のもとに、これを公表します。

- (1) 医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、それが死因となった場合、若しくは「永続的な障害や後遺症が残る」など、患者さんに相当の有害な結果を生じた場合には即時に公表する。
- (2) 医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、濃厚な処置や治療を要した場合には、一括して個別事例を公表する。

上記以外の医療事故は公益財団法人日本医療機能評価機構への報告を通じて公表します。なお、インシデント事例は包括した形で件数等を一括して公表し、原則として個別事例は公表しませんが、医療に係る事故の発生の予防及び再発の防止に資すると考えられる警鐘的な事例は日本医療機能評価機構への報告を通じて公表します。

4 医療事故の公表の判断・判定について

医療事故の公表の判断・判定に関しては、上記の基準をもとに、各病院における会議体で検討し、最終的に病院長が判断します。附属病院では院内医療事故会議（事例検証会議）、センター病院では院内事例検証会議にて検討を行っています。

なお、これらの会議による検討経過、病院長の判断等の一連の事務については外部有識者等による「横浜市立大学附属2病院監査委員会」の監査を受けることとなります。

5 公表及び公表内容についての患者さん及び御家族の同意について

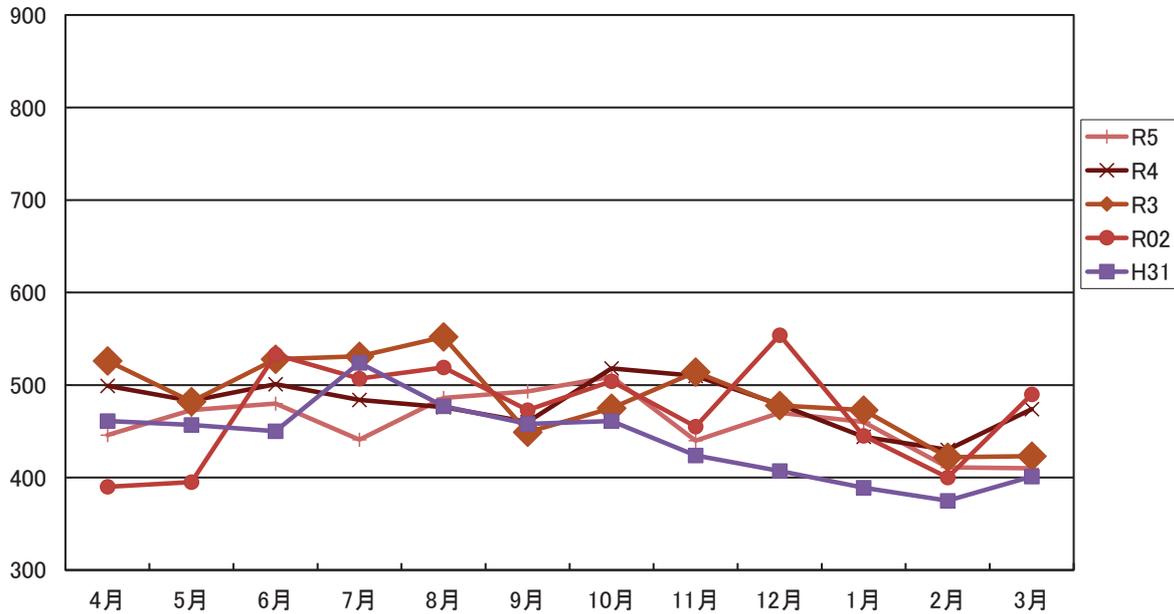
医療事故を報道機関等へ公表する際には、個人情報保護の観点から「報道機関等への公表について」による確認を行います。

IV インシデント報告の状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

※【各表について】小数点以下第2位を四捨五入しているため、見た目の計算結果が合計欄と合わないことがあります。

1 附属病院

(1) インシデント報告の月別件数



(2) インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度	提出率	昨年度	職員数	昨年度
医師	282	268	23.5	22.3	5.1%	4.7%	7.8%	7.5%	303	297
看護師	4,867	5,095	405.6	424.6	88.2%	88.5%	49.9%	51.2%	813	830
コ・メディカル	302	348	25.2	29.0	5.5%	6.0%	9.1%	10.7%	277	272
事務・その他	68	47	5.7	3.9	1.2%	0.8%	2.0%	1.4%	291	282
合計	5,519	5,758	459.9	479.8	100.0%	100.0%	27.3%	28.6%	1,684	1,680

※ 職員数は令和5年度の月平均現在員数

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

(3) インシデント報告の事象別内訳

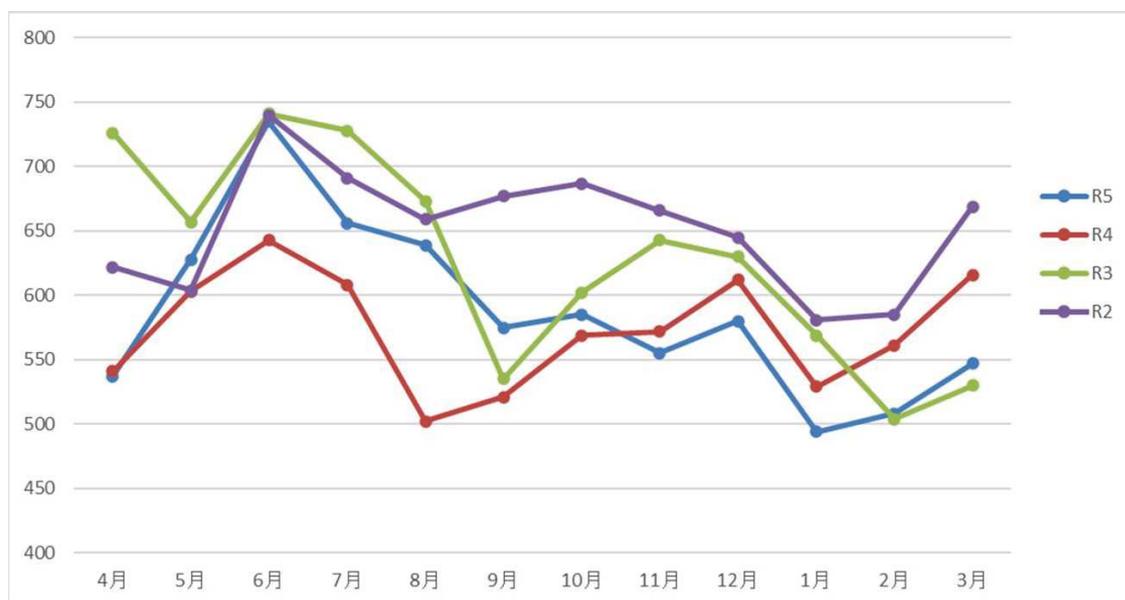
事象	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度
薬剤	1,741	1,913	145.1	159.4	31.5%	33.2%
輸血	41	36	3.4	3.0	0.7%	0.6%
治療・処置	224	195	18.7	16.3	4.1%	3.4%
医療機器等	248	220	20.7	18.3	4.5%	3.8%
ドレーン・チューブ	1,103	1,142	91.9	95.2	20.0%	19.8%
検査	375	351	31.3	29.3	6.8%	6.1%
療養上の世話	666	723	55.5	60.3	12.1%	12.6%
(うち転倒・転落)	490	521	40.8	43.4	8.9%	9.0%
その他	1,121	1,178	93.4	98.2	20.3%	20.5%
合計	5,519	5,758	459.9	479.8	100.0%	100.0%

(4) インシデント報告の場所別内訳

場所	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度
病室	3,454	3,670	287.8	305.8	62.6%	63.7%
病棟処置室	35	35	2.9	2.9	0.6%	0.6%
廊下	108	131	9.0	10.9	2.0%	2.3%
トイレ	113	107	9.4	8.9	2.0%	1.9%
浴室	11	12	0.9	1.0	0.2%	0.2%
外来診察室・処置室	167	162	13.9	13.5	3.0%	2.8%
外来待合室	19	21	1.6	1.8	0.3%	0.4%
手術室	512	481	42.7	40.1	9.3%	8.4%
検査室	300	246	25.0	20.5	5.4%	4.3%
訓練室	10	19	0.8	1.6	0.2%	0.3%
薬剤部	24	33	2.0	2.8	0.4%	0.6%
ナースステーション	365	432	30.4	36.0	6.6%	7.5%
その他	401	409	33.4	34.1	7.3%	7.1%
合計	5,519	5,758	459.9	479.8	100.0%	100.0%

2 センター病院

(1) インシデント報告の月別件数



(2) インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数		月平均		構成比		提出率		職員数	
	今年度	昨年度								
医師	363	297	30.3	24.8	5.2%	4.3%	6.3%	5.2%	479	473
看護師	5,878	5,757	489.8	479.8	83.5%	83.7%	54.9%	52.7%	893	911
コ・メディカル	623	677	51.9	56.4	8.9%	9.8%	22.3%	23.7%	233	238
事務・その他	175	146	14.6	12.2	2.5%	2.1%	20.0%	17.7%	73	69
合計	7,039	6,877	586.6	573.1	100%	100%	35.0%	33.9%	1,678	1,691

※ 職員数は令和5年度の月平均現在員数

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

(3) インシデント報告の事象別内訳

事象	件数		月平均		構成比	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
薬剤	2,371	2,267	197.6	188.9	33.7%	33.0%
輸血	44	35	3.7	2.9	0.6%	0.5%
治療・処置	286	263	23.8	21.9	4.1%	3.8%
医療機器等	319	253	26.6	21.1	4.5%	3.7%
ドレーン・チューブ	1,059	1,210	88.3	100.8	15.0%	17.6%
検査	564	577	47.0	48.1	8.0%	8.4%
療養上の世話	789	760	65.8	63.3	11.2%	11.1%
(うち転倒・転落)	555	487	46.3	40.6	7.9%	7.1%
その他	1,607	1,512	133.9	126.0	22.8%	22.0%
合計	7,039	6,877	586.6	573.1	100%	100%

(4) インシデント報告の場所別内訳

場所	件数		月平均		構成比	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
病室	4,272	4,255	356.0	354.6	60.7%	61.9%
病棟処置室	34	27	2.8	2.3	0.5%	0.4%
廊下	117	93	9.8	7.8	1.7%	1.4%
トイレ	103	100	8.6	8.3	1.5%	1.5%
浴室	22	18	1.8	1.5	0.3%	0.3%
外来診察室・処置室	386	348	32.2	29.0	5.5%	5.1%
外来待合室	28	22	2.3	1.8	0.4%	0.3%
手術室	483	368	40.3	30.7	6.9%	5.4%
検査室	526	575	43.8	47.9	7.5%	8.4%
訓練室	26	19	2.2	1.6	0.4%	0.3%
薬剤部	103	146	8.6	12.2	1.5%	2.1%
ナースステーション	526	508	43.8	42.3	7.5%	7.4%
その他	413	398	34.4	33.2	5.9%	5.8%
合計	7,039	6,877	586.6	573.1	100%	100%

参 考 資 料

(令和6年11月27日)

I 医療安全管理体制	1
II 安全管理対策委員会の活動状況	3
III リスクマネジャー会議活動状況	11
IV 安全管理研修の開催状況	16

I 医療安全管理体制

(1) 医療安全管理の組織体制

ア 統括安全管理者（医療安全管理責任者）

副病院長の内の1名を任命し、病院の医療の質を推進する統括者として位置付けています。

イ 安全管理指導者

統括安全管理者を補佐して、病院の医療安全管理の指導、改善命令、研修計画の策定、情報収集等を行う職として「安全管理指導者」（医師）を配置しています。

ウ 医療安全管理者（安全管理担当）

病院長、統括安全管理者、安全管理指導者等からの指示により、医療安全確保のための対策及び評価、診療状況の把握及び職員の医療安全に関する意識向上の状況確認、プロジェクトの推進等を行うため、各病院の医療の質・安全管理部に担当を2名（看護師、薬剤師）配置しています。

エ 医薬品安全管理責任者

院内の医薬品に係る安全管理のための体制の確保に努めるとともに業務手順書の作成、研修の実施、業務手順書に基づいた業務の実施、医薬品情報の整理、周知及び周知状況の確認、未承認、適応外又は禁忌の使用の把握と必要性の検討の状況確認、必要に応じた指導及び結果の共有、未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等についての検討及び決定に関すること、未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて使用されていたかについての、従業者の遵守状況の確認に関すること等を行っています。

オ 医療機器安全管理責任者

医療機器の使用に係る安全管理のための体制の確保に努めるとともに研修の実施、保守点検に関する計画の策定及び保守点検の適切な実施、医療機器情報の整理、周知及び周知状況の確認に関すること等を行っています。

カ 医療放射線安全管理責任者

診療用放射線の安全利用を確保するため、指針の策定、放射線診療に従事する者に対する研修の実施、診療放射線を受ける者の被ばく線量の管理と記録、改善策の実施、放射線の過剰被ばくやその他の診療放射線に係る事例への対応を行い、その結果を統括安全管理者（医療安全管理責任者）へ報告しています。

キ 高難度新規医療技術評価部長

高難度新規医療技術を実施するにあたり、当該高難度新規医療技術の実施の適否等について決定し、また、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び術後に患者さんが死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認しています。

ク 未承認新規医薬品等評価部長

未承認新規医薬品等を使用するにあたり、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、また、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び使用後に患者さんが死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認しています。

ケ リスクマネジャー

安全管理に関する職場点検の状況報告、改善報告、事故の対応及び報告、職員の教育及び指導、安全管理に関するプロジェクトへの参加等を行っています。

(2) 安全管理の推進のための委員会活動

ア 安全管理対策委員会

統括安全管理者を委員長とし、院内の安全管理対策の検討・推進を図るため、問題の原因究明のための調査及び分析、改善のための方策の立案及び実施と周知、方針の見直し等を行っています。

イ リスクマネジャー会議

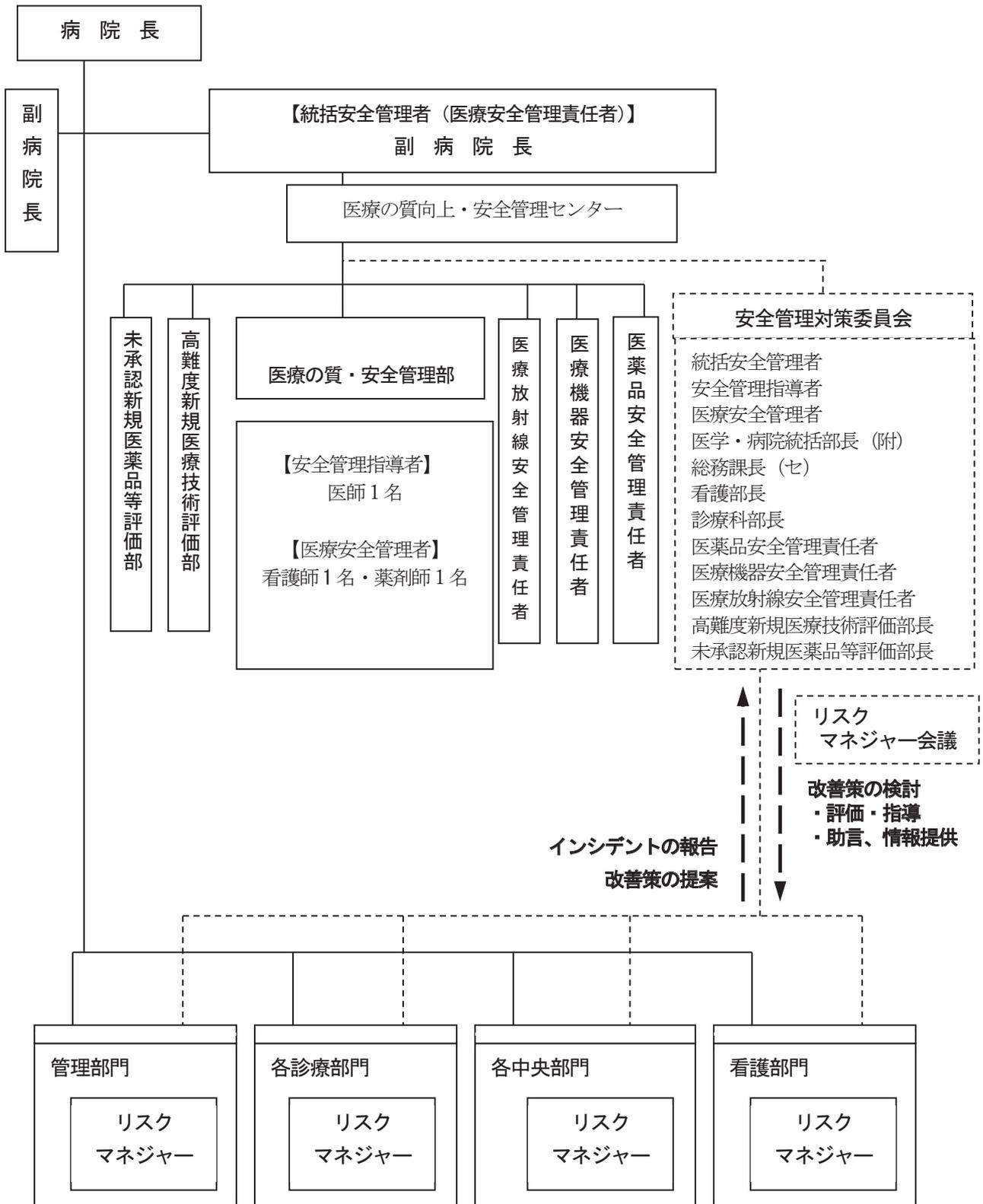
安全管理対策委員会の方針に基づき、医療安全上の検討や周知を図るとともに、インシデント報告の検討、各部署の安全管理の取組みの発表、討議及び情報の共有化を図り、各部署での医療安全管理を推進しています。

ウ インシデント報告システム

病院の日常業務の中で、医療事故につながりかねない「ヒヤリ、ハット」したできごと（インシデント）を医療従事者が自主的に報告し、その情報をもとに、事故を未然に防ぐための改善策を確立するシステムです。

報告は、各部門のリスクマネジャーから医療の質・安全管理部に報告され、安全管理対策委員会とリスクマネジャー会議を通じて改善策の検討と周知などを行っています。

横浜市立大学附属2病院 安全管理体制図



II 安全管理対策委員会の活動状況（令和5年4月～令和6年3月）

1 附属病院

開催日		主な議題
第1回	4月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 令和5年度医療の質向上・安全管理センターの体制について 3 新任委員紹介 4 医療安全に関する研修について 5 医療関連ニュースについて 6 事例報告 7 院内医療事故会議報告 8 医薬品安全管理責任者からの報告事項 9 医療機器安全管理責任者からの報告事項 10 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 11 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 12 医療安全に資する診療内容のモニタリング 13 死亡患者報告 14 患者からの安全管理に関わる相談報告 15 医療安全情報 16 リスクマネジャー配布物について 17 【別冊】医療安全マニュアル改正について 18 令和5年度安全管理対策委員会日程及び名簿
第2回	5月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 令和4年度インシデント報告集計結果について 6 院内医療事故会議報告 7 医薬品安全管理責任者からの報告事項 8 医療機器安全管理責任者からの報告事項 9 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 10 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 11 医療安全に資する診療内容のモニタリング 12 死亡患者報告 13 患者からの安全管理に関わる相談報告 14 医療安全情報 15 リスクマネジャー配布物について 16 医療安全マニュアル改正について
第3回	6月26日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 院内医療事故会議報告 5 医薬品安全管理責任者からの報告事項 6 医療機器安全管理責任者からの報告事項 7 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 9 医療安全に資する診療内容のモニタリング 10 死亡患者報告 11 患者からの安全管理に関わる相談報告 12 医療安全情報 13 リスクマネジャーによる院内巡視について 14 リスクマネジャー配布物について 15 医療安全マニュアル改正について

開催日		主な議題
第4回	7月24日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 事故調査委員会事例 再発防止に向けた取組について 6 院内医療事故会議報告 7 医薬品安全管理責任者からの報告事項 8 医療機器安全管理責任者からの報告事項 9 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 10 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 11 医療安全に資する診療内容のモニタリング 12 死亡患者報告 13 患者からの安全管理に関わる相談報告 14 医療安全情報 15 リスクマネジャーによる院内巡視について 16 リスクマネジャー配布物について 17 医療安全マニュアル改正について 18 外部監査日程について
第5回	8月28日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 院内医療事故会議報告 5 医薬品安全管理責任者からの報告事項 6 医療機器安全管理責任者からの報告事項 7 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 9 医療安全に資する診療内容のモニタリング 10 死亡患者報告 11 患者からの安全管理に関わる相談報告 12 医療安全情報 13 リスクマネジャーによる院内巡視について 14 リスクマネジャー配布物について 15 世界患者安全の日について 16 医療安全マニュアル改正について 17 病理解剖の減少について 18 外部監査日程について
第6回	9月25日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 院内医療事故会議報告 5 医薬品安全管理責任者からの報告事項 6 医療機器安全管理責任者からの報告事項 7 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 9 医療安全に資する診療内容のモニタリング 10 死亡患者報告 11 患者からの安全管理に関わる相談報告 12 医療安全情報 13 リスクマネジャー配布物について 14 医療安全マニュアル改正について 15 【別冊】医療安全マニュアル改正について 16 医師の指示のもとに看護師等が静脈注射、フラッシュ出来る薬剤について

開催日		主な議題
第7回	10月23日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 院内医療事故会議報告 5 立入検査（医療監視）講評 6 特定機能病院相互のピアレビュー及び相互チェック 7 医薬品安全管理責任者からの報告事項 8 医療機器安全管理責任者からの報告事項 9 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 10 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 11 医療安全に資する診療内容のモニタリング 12 死亡患者報告 13 患者からの安全管理に関わる相談報告 14 医療安全情報 15 リスクマネジャー配布物について 16 医療安全マニュアル改正について
第8回	11月27日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 院内医療事故会議報告 5 医薬品安全管理責任者からの報告事項 6 医療機器安全管理責任者からの報告事項 7 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 8 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 9 医療安全に資する診療内容のモニタリング 10 死亡患者報告 11 患者からの安全管理に関わる相談報告 12 医療安全情報 13 リスクマネジャー配布物について 14 患者確認強化月間取組 15 附属2病院医療安全の取組及び一括公表事例について 16 医療安全マニュアル改正について 17 医薬品の安全使用のための業務手順書改正について 18 情報管理運営委員会 19 クリニカルパス委員会
第9回	12月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 リスクマネジャー配布物について 15 患者確認強化月間取組 16 医療安全マニュアル改正について

開催日		主な議題
第10回	1月22日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 リスクマネジャー配布物について 15 患者確認強化月間取組 16 医療安全マニュアル改正について 17 【別冊】医療安全マニュアル改正について 18 ポケット版医療安全マニュアル・職員の手引き改正について
第11回	2月19日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 リスクマネジャー配布物について 15 医療安全マニュアル改正について 16 ポケット版医療安全マニュアル・職員の手引き改正について
第12回	3月25日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 リスクマネジャーによる院内巡視（後期）結果について 15 外来患者満足度調査結果について 16 リスクマネジャー配布物について 17 自殺対策マニュアル作成について

2 センター病院

開催日		主な議題
第1回	4月10日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 医療関連ニュース(令和5年2月27日～令和5年3月31日分)報告 3 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 4 リエゾンチーム報告 令和5年3月 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6 患者サポート担当報告 7 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 8 e-Learning「放射線の安全利用の基礎」の受講状況 9 医療安全モニタリング指標報告 10 死亡退院・死亡レビュー(令和5年3月)報告 11 転倒・転落プロジェクト報告 12 患者基本の薬剤禁忌情報画面の変更について 13 RRT(ラビッド・レスポンス・チーム)活動報告 14 3b以上の事例報告
第2回	5月8日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 医療関連ニュース(令和5年4月3日～4月28日分)報告 3 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 4 リエゾンチーム報告 令和5年4月 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6 患者サポート担当報告 7 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 8 医療安全モニタリング指標報告 9 死亡退院・死亡レビュー(令和5年4月)報告 10 医療安全啓発動画 第3弾「本人確認」 11 RRT(ラビッド・レスポンス・チーム)活動報告 12 3b以上の事例報告 13 【審議事項】 ・心肺蘇生法講習会実施計画について(心肺蘇生講習会チーム)
第3回	6月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 医療関連ニュース(令和5年5月1日～5月26日分)報告 3 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 4 リエゾンチーム報告 令和5年5月 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6 患者サポート担当報告 7 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 8 医療安全モニタリング指標報告 9 死亡退院・死亡レビュー(令和5年5月)報告 10 RRT(ラビッド・レスポンス・チーム)活動報告 11 3b以上の事例報告 12 【審議事項】 ・在宅用人工呼吸器の申請通知、申請書(連絡票)の改定について
第4回	7月10日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 医療関連ニュース(令和5年5月29日～6月30日分)報告 3 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 4 リエゾンチーム報告 令和5年6月 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6 患者サポート担当報告 7 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 8 医療安全モニタリング指標報告 9 死亡退院・死亡レビュー(令和5年6月)報告 10 RRT(ラビッド・レスポンス・チーム)活動報告 11 3b以上の事例報告 12 【審議事項】 ・化学療法等に伴うB型肝炎ウイルス(HBV)再活性化の再発防止策の検討方法について

開催日		主な議題
第5回	8月7日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 医療関連ニュース(令和5年7月3日～7月28日分)報告 3 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 4 リエゾンチーム報告 令和5年7月 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6 患者サポート担当報告 7 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 8 医療安全モニタリング指標報告 9 死亡退院・死亡レビュー(令和5年7月)報告 10 放射線部における医師の働き方改革の取り組み「核医学検査」 11 患者基本情報の仕様変更について 12 RRT(ラピッド・レスポンス・チーム)活動報告 13 3b以上の事例報告
第6回	9月11日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 医療関連ニュース(令和5年7月31日～9月1日分) 3 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 4 リエゾンチーム報告 令和5年8月 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6 患者サポート担当報告 7 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 8 医療安全モニタリング指標報告 9 死亡退院・死亡レビュー(令和5年8月)報告 10 『世界患者安全の日2023』イベント開催について 11 CT、MRI 造影剤使用前の食止めの廃止について 12 RRT(ラピッド・レスポンス・チーム)活動報告 13 3b以上の事例報告 14 【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・口頭指示表の様式変更、口頭指示テンプレートの廃止、安全管理マニュアルの改定について
第7回	10月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 医療関連ニュース(令和5年9月4日～9月29日分) 3 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 4 リエゾンチーム報告 令和5年9月 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6 患者サポート担当報告 7 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 8 医療安全モニタリング指標報告 9 死亡退院・死亡レビュー(令和5年8月)報告 10 「手術部におけるオカレンス報告」の設定について 11 医療安全マニュアル「6.説明と同意の原則」の所管変更 12 RRT(ラピッド・レスポンス・チーム)活動報告 13 3b以上の事例報告 14 【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全マニュアル「8 指示の原則と運用」の改訂 ・医療安全マニュアル「19 身体拘束(身体抑制)」の改訂 ・「身体拘束(身体抑制)記録テンプレート」の変更
第8回	11月6日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 医療関連ニュース(令和5年10月2日～10月27日分) 3 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 4 リエゾンチーム報告 令和5年10月 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6 患者サポート担当報告 7 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 8 放射線の安全利用の基礎e-Learning 受講状況報告 9 医療安全モニタリング指標報告 10 死亡退院・死亡レビュー(令和5年10月)報告 11 投与中・投与後の状態・反応の観察が必要な医薬品の新たな指定について 12 HBV 再活性化対策ワーキンググループ報告 13 RRT(ラピッド・レスポンス・チーム)活動報告 14 3b以上の事例報告

開催日		主な議題
第9回	12月11日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 医療関連ニュース(令和5年10月30日～12月1日分) 3 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 4 リエゾンチーム報告 令和5年11月 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6 患者サポート担当報告 7 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 8 医療放射線安全管理委員会報告 9 医療安全モニタリング指標報告 10 死亡退院・死亡レビュー(令和5年11月)報告 11 第2回 医療安全講演会開催報告(NTT東日本:村岡副看護部長)アンケート結果について 12 「世界患者安全の日」イベント開催報告 13 手術後の患者搬送に関する運用の取り決めについて 14 RRT(ラピッド・レスポンス・チーム)活動報告 15 3b以上の事例報告 16 【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・RRSマニュアル制定(案)および RRS要綱(改訂案)について ・抗がん剤使用に伴うHBV 再活性化対策(案)について
第10回	1月15日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 医療関連ニュース(令和5年12月4日～令和5年1月5日分) 3 RST(ピラトリー・サポート・チーム)報告 4 リエゾンチーム報告 令和5年12月 5 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 6 患者サポート担当報告 7 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 8 医療放射線安全管理委員会報告 9 医療安全モニタリング指標報告 10 死亡退院・死亡レビュー(令和5年12月)報告 11 安全管理対策委員会&RM 会議スケジュール(R6) 12 第2回 附属2病院情報共有会 開催報告 13 RRT(ラピッド・レスポンス・チーム)活動報告 14 3b以上の事例報告 15 【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全マニュアルの一括改定 <ul style="list-style-type: none"> 4患者死亡時の対応/7 臨床上、倫理問題を含む事例に遭遇した時の対処法 14 抗がん剤等薬物の血管外漏出への対応 16 アナフィラキシーショック症状への初期対応について 17 CT、MRI 検査時の造影剤使用 21 手術関連 30 カラーシリンジ使用の取り決め 32 研修医が単独で行ってよい処置・処方の基準(ガイドライン)
第11回	2月5日	<p><天候不良のためメール会議></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事確認 2 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 3 リエゾンチーム報告 令和6年1月 4 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 5 患者サポート担当報告 6 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 7 医療放射線安全管理委員会報告 8 医療安全モニタリング指標報告 9 死亡退院・死亡レビュー(令和6年1月)報告 10 安全管理対策委員会&RM 会議スケジュール(R6) 11 令和5年度 安全管理巡回 集計結果 12 【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全マニュアル「23 輸血」の改定(案) ・鎮静マニュアルの改定(案) ・医薬品安全使用のための業務手順書の改訂(案)

開催日	主な議題
第12回	3月11日 <ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度 安全管理対策委員会 & RM会議スケジュール 2 前回議事確認 3 医療関連ニュース(令和6年1月9日～3月1日分) 4 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 5 リエゾンチーム報告 令和6年1月 6 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告 7 患者サポート担当報告 8 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 9 医療放射線安全管理委員会報告 10 医療安全モニタリング指標報告 11 死亡退院・死亡レビュー(令和6年2月) 12 令和5年度 安全管理巡回の実施報告 13 令和5年度 第2回 附属2病院監査委員会報告 14 手術前休薬期間の日安改定について 15 RRT(ラビッド・レスポンス・チーム)活動報告 16 3b以上の事例報告 17 【審議事項】 ※メール会議結果報告 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全マニュアル「23 輸血」の改定 ・鎮静マニュアルの改定 ・医薬品安全使用のための業務手順書の改訂

Ⅲ リスクマネジャー会議活動状況（令和5年4月～令和6年3月）

1 附属病院

開催日	主な議題
第1回 4月10日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 令和5年度医療の質向上・安全管理センターの体制について 3 新任リスクマネジャーの紹介 4 医療安全に関する研修について 5 医療関連ニュースについて 6 事例報告 7 薬剤疑義照会事例 8 造影CT、MRI撮影前の絶食制度の緩和 9 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 10 医療安全情報 11 医療安全マニュアル改正について 12 リスクマネジャー院内巡視（後期）結果について 13 医療安全に関する部門内業務改善計画書について 14 医療安全マニュアルに定める年度始めの書類提出について 15 各種未提出書類について 16 酢酸事故から10年経過 17 令和5年度リスクマネジャー会議日程及び名簿 18 次回リスクマネジャー会議 19 <新任RM向け>リスクマネジャー（RM）の役割・知っていただきたいこと
第2回 5月1日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 事例報告 4 医療関連ニュースについて 5 薬剤疑義照会事例 6 令和4年度インシデント報告集計結果について 7 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 8 医療安全情報 9 【別冊】医療安全マニュアル改正について 10 当直引継ぎに関する診療科規定について 11 各種未提出書類について
第3回 6月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 「医薬品の安全使用のための業務手順書」について 7 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 8 医療安全情報 9 摂食嚥下支援チームからの報告 10 医療安全マニュアル改正について 11 各種未提出書類について 12 Dr. コールの通報について
第4回 7月3日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 7 医療安全情報 8 日本医療機能評価機構への報告テーマの変更 9 リスクマネジャーによる院内巡視（前期）について 10 当直引き継ぎに関する診療科規定について 11 身体抑制について 12 医療安全マニュアル改正について 13 各種未提出書類について

開催日		主な議題
第5回	9月4日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 「医薬品の安全使用のための業務手順書」について 7 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 8 医療安全情報 9 医療安全マニュアル改正について 10 令和5年度医療安全対策に関する部門内業務改善計画書 中間評価について 11 医療安全に関する院内巡視（前期）結果について 12 世界患者安全の日について 13 各種未提出書類について
第6回	10月2日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 7 医療安全情報 8 医療安全マニュアル改正について 9 【別冊】医療安全マニュアル改正について 10 医師の指示のもとに看護師等が静脈注射、フラッシュ出来る薬剤について 11 各種未提出書類について 12 立入り検査について 13 誤投与/過量投与発生時対応フローについて
第7回	11月6日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 7 医療安全情報 8 医療安全マニュアル改正について 9 立入り検査について 10 特定機能病院間相互のピアレビューおよび医療安全・質向上のための相互チェック 11 各種未提出書類について
第8回	12月4日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 7 医療安全情報 8 タイムアウトの見直し 9 医療安全マニュアル改正について 10 「医薬品の安全使用のための業務手順書」について 11 「医薬品の安全使用のための業務手順書」に基づく実施状況の確認 12 患者確認強化月間取組 13 ポケット版医療安全マニュアルについて 14 各種未提出書類について 15 病棟運営委員会：指示コメントの整理とルール化について
第9回	1月15日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 7 医療安全情報 8 医療安全マニュアル改正について 9 患者確認強化月間取組 10 各種未提出書類について 11 業務改善に向けた看護師の勤務帯別マスク2色制の導入 12 医療安全対策に関する業務改善計画書総括について 13 説明同意文書の電子カルテ登録について 14 説明同意文書の印刷・保管方法について 15 術前休止薬に関する付箋確認について 16 ICU・ハイケア入退室基準・フローの作成と運用について

開催日		主な議題
第10回	2月5日	1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 7 医療安全情報 8 医療安全マニュアル改正について 9 【別冊】医療安全マニュアルの改正 10 身体抑制監査結果 11 各種未提出書類について
第11回	3月4日	1 議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 「医薬品の安全使用のための業務手順書」実施状況について 7 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 8 医療安全情報 9 医療安全マニュアル改正について 10 ポケット版医療安全マニュアル／職員の手引きの改正 11 医療安全対策に関する部門内業務改善計画の取組について 12 食事配膳トレイの色変更について 13 各種未提出書類について

2 センター病院

開催日		主な議題
第1回	4月17日	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度リスクマネジャー名簿 及び 開催日程 2 統括安全管理者からリスクマネジャー(代表者)へ委嘱状の交付 3 前回議事録確認 4 医療関連ニュース(令和5年2月27日～3月31日分) 5 医療安全モニタリング指標報告 6 死亡退院・死亡レビュー報告 7 転倒転落プロジェクト報告 8 新任職員への医療安全に関するオリエンテーションの実施の依頼 9 患者基本の薬剤禁忌情報画面の変更について 10 リスクマネジャー会議でのグループワークの進め方 11 医療安全マニュアルの一部差替えのお願い 12 診療科で実施したM&M(合併症・死亡)カンファレンス記録提出のお願い 13 [医療安全研修案内等] 14 [教育講演]リスクマネジャーの役割(安全管理指導者:中村)
第2回	5月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和5年4月3日～4月28日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 死亡退院・死亡レビュー報告 5 医療安全啓発動画 第3弾「本人確認」について 6 再)M&M(合併症・死亡)カンファレンス記録提出の依頼 7 心肺蘇生法講習会実施計画について 8 [医療安全研修案内等] 9 [グループワーク] リスクマネジャー会議でのグループワークの進め方
第3回	6月12日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和5年5月1日～5月26日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 死亡退院・死亡レビュー報告 5 在宅用人工呼吸器の院内持ち込み連絡票の変更について 6 「超音波診断装置日常点検表」変更のお知らせ 7 [医療安全研修案内等] 8 [グループワーク]
第4回	7月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和5年5月29日～6月30日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 令和4年度 外来患者満足度調査結果(患者確認項目) 5 死亡退院・死亡レビュー報告 6 令和5年度第1回 医療安全講演会アンケート結果報告 7 人工呼吸器加温加湿器の再開忘れ対策(RST) 8 CVC登録医制度について 9 [医療安全研修案内等] 10 [グループワーク]
第5回	9月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和5年7月31日～9月1日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 死亡退院・死亡レビュー報告 5 リスクマネジャー向けe-Learning(部門内周知状況) 6 ファントルクンによる「手術部におけるオカレンス報告」の開始について 7 患者基本情報の仕様変更について 8 RI検査の注射は医師又は診療放射線技師対応について 9 CT、MRI 造影剤使用前の食止めの廃止について 10 口頭指示表の変更及び運用について 11 [医療安全研修案内等] 12 [グループワーク]
第6回	10月23日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和5年9月4日～9月28日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 死亡退院・死亡レビュー報告 5 ファントルクンによる「手術部におけるオカレンス報告」の開始について 6 令和5年度 安全管理巡回の実施について 7 医療安全マニュアル「6.説明と同意の原則」について 8 医療安全マニュアル「8.指示の原則と運用」 9 医療安全マニュアル「19身体拘束(身体抑制)」改訂、テンプレートの変更について 10 [医療安全研修案内等] 11 [グループワーク]

開催日		主な議題
第7回	11月13日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和5年10月2日～10月27日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 死亡退院・死亡レビュー報告 5 リスクマネジャー向けe-Learning(部門内周知状況～9月RM会議) 6 令和5年度 安全管理巡回の実施について(再) 7 検査予約オーダー入力徹底のお願い 8 投与中・投与後の状態・反応の観察が必要な医薬品の新たな指定について 9 診療科・看護部所管の医療機器の管理について 10 [医療安全研修案内等] 11 [グループワーク]
第8回	12月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和5年10月30日～12月1日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 死亡退院・死亡レビュー報告 5 医療安全研修(e-Learning)受講状況(12月8日時点) 6 令和5年度 安全管理巡回の実施状況報告 7 「世界患者安全の日」イベント開催報告 8 ME点検済み機器 表記方法変更のお知らせ 9 RRS(Rapid Response System)運用マニュアル制定 10 手術後の患者搬送に関する運用の取り決めについて 11 手術室で記録媒体の取り扱いについて 12 [医療安全研修案内等] 13 [グループワーク]
第9回	1月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和5年12月4日～令和6年1月5日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 死亡退院・死亡レビュー報告 5 R6年度安全管理対策委員会 & RM会議スケジュール 6 リスクマネジャー向けe-Learning(部門内周知状況～12月RM会議) 7 医療安全研修(e-Learning)受講状況(1月12日時点) 8 医療安全マニュアルの改定(令和6年4月1日付) 9 免疫抑制・化学療法に伴うB型肝炎ウイルス再活性化対策について 10 内服処方オーダー画面の仕様変更(令和6年1月24日より変更) 11 血液分注用ホルダ 血培ボトル変更について 12 [医療安全研修案内等] 13 [グループワーク発表] <ul style="list-style-type: none"> ・患者基本画面の運用について ・患者基本画面の運用 ・患者基本画面を使った効果的な患者情報の共有 ・患者基本画面の運用～効果的な活用方法とは～
第10回	2月26日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和6年1月9日～1月26日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 死亡退院・死亡レビュー報告 5 リスクマネジャー向けe-Learning(部門内周知状況～1月RM会議) 6 R6年度安全管理対策委員会 & RM会議スケジュール 7 医療安全研修(e-Learning)受講状況(2月20日時点) 8 「医療安全確保のための業務改善計画書」の年度末評価の提出のお願い 9 令和5年度リスクマネジャーの選任と引継ぎのお願い 10 医療安全マニュアル「23 輸血」の改定 11 鎮静マニュアルの改定 2024年4月 12 [医療安全研修案内等] 13 [グループワーク発表] <ul style="list-style-type: none"> ・引き算できる業務を見つける ・院内ハザードマップ ・いつでもどこでも患者確認は慎重に！ ・引き算できる業務をみつける 「転倒転落予防のためにII」の説明の代替え案 ・手術前の休業管理について
第11回	3月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和6年1月29日～3月1日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 死亡退院・死亡レビュー報告 5 リスクマネジャー向けe-Learning(部門内周知状況～2月RM会議) 6 R6年度安全管理対策委員会 & RM会議スケジュール(確定) 7 医療安全研修(e-Learning)受講状況(3月13日時点) 8 【再掲】「医療安全確保のための業務改善計画書」の年度末評価の提出のお願い 9 【再掲】RM選出／次年度新任職員への医療安全オリエンテーションの依頼 10 診療科部長・中央部門長・RMとの面談の実施について 11 令和5年度RMIによる安全管理巡回の実施報告 12 手術前休業期間の目安改定について 13 [医療安全研修案内等]

IV 安全管理研修の開催状況(令和5年4月～令和6年3月)

1 附属病院

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新入職者研修	4月3日	新採用・ 転入者	111人	各コンテンツ 1.0時間	<ul style="list-style-type: none"> ・知っておきたい医療安全の知識 ・感染対策について ・医療機器総論 ・医薬品の安全管理 ・放射線診療における医療安全 ・手術における医療安全 ・医療安全について ・コンプライアンス・個人情報保護について ・臨床倫理について ・診療記録の記載について ・特定機能病院と地域連携について ・保険医療機関の義務について ・患者対応・接遇、患者の権利について ・附属病院の組織・労務管理・ハラスメントについて ・臨床研究について ・研修医の指導について
	4月5日		234人		
	4月1日～3月31日				
復職者研修	4月1日～3月31日	復職者	19人	各コンテンツ 1.0時間	<ul style="list-style-type: none"> ・知っておきたい医療安全の知識 ・感染対策について ・医療機器総論 ・医薬品の安全管理 ・手術における医療安全 ・医療安全について(動画講義) ・コンプライアンス・個人情報保護について ・臨床倫理について ・診療記録の記載について ・附属病院の組織・労務管理・ハラスメントについて
令和5年度第1回 医療安全講演会	4月11日～3月31日 (e-Learning)	新採用・ 転入者必須 全職員	1013人	1.0時間	・附属病院の医療安全の歩み
令和5年度第2回 医療安全講演会	7月28日～9月30日 (e-Learning)	全職員	1885人	1.0時間	・安全な鎮静管理に役立つ知識とその実践 ・医療事故の再発防止に向けた提言第16号の紹介
令和5年度第3回 医療安全講演会	12月26日～3月31日 (e-Learning)	全職員	1643人	1.0時間	・ラピッドレスポンスチームの活動 ・2022年12月実施執刀前タイムアウト見直しの効果測定について
令和5年度第4回 医療安全講演会	2月19日～3月31日(e- Learning)	全職員	1913人	1.0時間	・医療放射線安全研修 ・医薬品安全管理研修
TeamSTEPPS研修	11月2日	全職員	80人	1.5時間	参加型医療安全研修
	1月10日		74人		
	1月19日		75人		
中心静脈カテーテル 講習会	5月18日	医師、 研修医、 特定行為認 定看護師	27人	1.0時間	講義、シミュレーターを使用した実技演習
	5月19日		27人	1.0時間	
PICC講習会	6月30日	医師、 研修医、 特定行為認 定看護師	4人	1.0時間	講義、シミュレーターを使用した実技演習
【新採用者】オリエン テーション・ステップ1	4月5日	新人	63人	7.5時間	【オリねらい】 横浜市立大学附属病院の看護職として自覚し、自立に 向けた1年間をイメージすることができる。 【ステップ1ねらい】 社会人基礎力を学び、社会人、看護専門職としての自覚 をもつことができる
【新採用者】オリエン テーション・ステップ1	4月6日	新人	62人	7.5時間	【オリねらい】 横浜市立大学附属病院の看護職として自覚し、自立に 向けた1年間をイメージすることができる。

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
【新採用者】オリエンテーション	4月7日	新人	61人	7.5時間	<p>【目的】 横浜市立大学附属病院の雰囲気、看護師の仕事を体感し、自分が働く姿をイメージする。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの受け手の療養環境が分かる 2. 看護提供方式 (PNS) が分かる 3. 専門職として、社会人として必要な態度、姿勢が分かる 4. チーム医療を推進するために、看護師の役割が分かる 5. 横浜市立大学附属病院のCOVID-19 感染防止策が分かる
【新採用者】インターンシップ	4月10日	新人	63人	7.5時間	<p>【目的】 横浜市立大学附属病院の雰囲気、看護師の仕事を体感し、自分が働く姿をイメージする。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの受け手の療養環境が分かる。 2. 看護提供方式 (PNS) が分かる。 3. 専門職として、社会人として必要な態度、姿勢が分かる 4. チーム医療を推進するために、看護師の役割が分かる 5. 横浜市立大学附属病院のCOVID-19 感染防止策が分かる
	4月11日		63人		
【ステップ2】感染予防対策・看護と安全・ハイリスク薬・フィジカル1	4月14日	新人	63人	7.5時間	<p>【感染】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染対策に必要な知識を学び、状況に応じた標準予防策を知る 2. 注射調剤時の安全な針の取り扱いと清潔操作を学ぶ <p>【安全】患者誤認防止の基本を知り、マニュアルに準じた患者確認を学ぶ</p> <p>【ハイリスク】ハイリスク薬に関する取り扱い方法や注意点を学ぶ</p> <p>【バイタルサイン】バイタルサインの基本を再学習し、患者の状態変化を見る視点を学ぶ</p>
【ステップ2】酸素・吸引・輸液(シリンジポンプ・輸液ポンプの取り扱い)	4月15日	新人	63人	7.5時間	<ol style="list-style-type: none"> 1. 酸素吸入療法の基本的知識を学ぶ。 2. 吸引(気管・口腔・鼻腔)に必要な基本的知識を学ぶ。
【ステップ2】身体抑制・滅菌操作・膀胱留置カテーテル・移送・移乗・更衣・保清	4月17日	新人	63人	7.5時間	<p>【抑制】行動制限の基礎知識を学び、当院の基準に沿った身体抑制の実施と管理について知る</p> <p>【膀胱留置カテーテル】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 標準予防策に必要な基礎知識と技術を習得する 2. 膀胱留置カテーテル挿入時、留置中の感染対策を学ぶ <p>【移送・移乗】療養生活場面で必要となる体位変換、移送・移乗の知識・技術を学ぶ。</p> <p>【更衣・保清】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全身清拭の目的・手順を知り、経験できる 2. 寝衣交換の目的・手順を知り、経験できる
【ステップ2】静脈血採血・インスリン製剤	4月21日	新人	61人	3.8時間	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静脈血採血に必要な基本的知識を得て、患者の安全に配慮した採血技術手順を学ぶ。 2. 取り扱いが多いインスリンの種類や特徴を知り、取り扱い方法を学ぶ。
【ステップ2】輸血療法	4月21日	新人	33人	3.8時間	輸血療法の目的、輸血用血液製剤の特徴や管理方法を学び、安全な輸血手順を知る。
			28人		
【新採用者】摂食嚥下・看護記録・スキンケア・針刺し予防・こころと身体	5月15日	新人	41人	7.5時間	<p>【ねらい】</p> <p>《針刺し予防》 針刺し防止対策を理解し、部署で実践する。</p> <p>《スキンケア》 褥瘡の発生要因やリスクアセスメント、褥瘡予防ケアを学ぶ。</p> <p>《こころと身体》 自分自身の心と身体の状態を確認し、心と身体の健康を保つための方法を知る。</p>
	5月22日		30人		

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
【看護管理者】災害看護研修	5月23日	看護管理	9人	1.0時間	【ねらい】 看護管理者として、災害発生時の初動対応の流れがわかる。 【目標】 1. 災害拠点病院の役割がわかり、当院のBCPを理解する。 2. 災害対策本部の役割を理解し、アクションカードの使用方法がわかる。 3. 防災備品の配置場所がわかる。
【2年目必須】フィジカルアセスメントⅡ-① &安全な指示確認 &指示受け&ケーススタディ	6月7日	ラダーⅠ～Ⅱ	38人	4.0時間	【フィジカルねらい】 バイタルサインと患者の身体所見を合わせ、症状・徴候を評価し、看護ケアを考えることができる 【安全ねらい】 1. 看護職が実施する診療補助における医師の指示についての関連法規や法的責任を学ぶ。 2. 医師の指示(包括的指示・具体的指示)の解釈を学ぶ。 3. 指示確認する際に、注意・確認する視点を学ぶ 4. 指示実行場面での注意・確認する視点を学ぶ 5. 指示確認・指示実行場面で、起こりやすいインシデント対策を学ぶ。
	6月15日		25人		
【新採用者】看護過程&フィジカルアセスメントⅠ-②&災害看護の基礎&BLSⅠ	6月30日	新人	60人	7.5時間	【看護過程】看護過程を展開する上で、身体面・精神面・社会面のアセスメントに必要な情報がわかる 【フィジカル】フィジカルアセスメントの基礎を学び、根拠に基づいた情報収集から、観察する要点を学ぶ 【災害】災害発生時の対応を理解し、初期対応ができる 【BLS】心肺停止時に適切な心肺蘇生を行うことができる
【2年目必須】フィジカルアセスメントⅡ-②	7月3日	ラダーⅠ～Ⅱ	37人	2.0時間	【フィジカルねらい】 バイタルサインと患者の身体所見を合わせ、症状・徴候を評価し、看護ケアを考えることができる
	7月11日		30人		
【ステップ5】タイムマネジメント&フィジカルアセスメントⅠ-③ &こころと身体③	7月10日	新人	36人	7.5時間	【タイムマネジメントねらい】 安全で効率的なケアを提供するための時間管理について学ぶ 【フィジカルねらい】 複数人のフィジカルアセスメントを行い、優先度を考えた相談報告ができる 【こころと身体】 自身の心と身体の状況を確認し、健康を保つ
	7月24日		35人		
BLSⅡ 急変時対応 心肺蘇生ガイドラインと周辺環境調整	7月31日	ラダーⅠ～Ⅱ	31人 35人	3.5時間	【ねらい】 ベッドサイドの急変対応がイメージでき、根拠に基づいた蘇生行為が行える
新人研修 CVC(中心静脈栄養)管理研修	8月2日	新人	79人	3.8時間	1. 中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を学ぶ 2. 中心静脈カテーテル管理に関連したリスクを知り、合併症予防とトラブル時の対処方法を学ぶ

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
フィジカルアセスメント2.5 中級編	8月17日	リーダーⅠ～Ⅱ	43人	2.5時間	<p>患者の徴候や症状から意図的な情報収集を行い、患者の病態変化を判断し、根拠に基づく看護を考えることができる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の状態把握に必要なフィジカルアセスメントの知識を学ぶ 2. 複数の事例を通して、フィジカルアセスメントを行い、患者の徴候や症状から病態を判断でき、今後起こりうる状態を推測できる 3. 患者の徴候や症状、バイタルサインから病態変化を判断し、必要な看護を考えることができる 4. 患者の状態から推測できる病態変化を考えた上で、医師へ報告できる
	10月30日		47人		
BLSⅢ	8月24日	リーダーⅡ～Ⅲ	42人	4.0時間	<p>効果的なチームダイナミクスを発揮し、急変時対応が行える</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JRC2020ガイドラインに基づいた急変時のアルゴリズムが理解できる 2. 部署で遭遇しやすい成人・小児の急変患者事例の演習を通して、患者の状態の評価・報告・初期対応ができる 3. 急変時のリーダー役割や他スタッフへの適切な指示が行える 4. チームダイナミクスに必要な要素を学ぶ 5. デブリーフィングにおいて、指導的役割を担い、自己・他者の行動変容に繋げるファシリテーションができる
	9月22日		40人		
公開研修「呼吸管理」	8月30日	リーダーⅠ～Ⅱ	22人	3.5時間	<p>人工呼吸管理の基本的知識と管理を学び、必要な看護ケアを考えることができる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人工呼吸器の適応と基本の換気モードが理解できる 2. 人工呼吸器装着患者の看護やリハビリについて学ぶことができる
針刺し防止(9月)③	9月4日	新人	59人	1.0時間	<p>針刺し防止対策を理解し、部署で実践する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床での具体的な針刺し防止対策を学び針刺しリスクを考えることができる 2. 針を扱う危機意識をもち、針刺しが起こりやすい場面をイメージして対策を考えることができる 3. 安全装置付き翼状針の正しい使用方法を学び、演習できる
公開研修「呼吸管理」	9月12日	リーダーⅡ～Ⅴ	15人	2.0時間	<p>人工呼吸管理の基本的知識と管理を学び、必要な看護ケアを考えることができる</p> <p>呼吸不全患者の事例を通して看護ケアについて考えることができる</p>
CVポート管理研修(初回登録)	9月21日	リーダーⅡ～Ⅴ	21人	2.0時間	<p>CVポート管理の基本的知識、穿刺・抜針の技術を習得する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CVポートの基礎知識、合併症について知る 2. CVポートの管理に関連するトラブルについて理解し、予防と対処方法がわかる 3. CVポート挿入患者の看護と患者・家族指導の方法がわかる 4. CVポートの穿刺・抜針の手順・手技を理解し、実技を習得する
【オンデマンド】急変の予測と救命救急場面の対応	9月26日	リーダーⅡ～Ⅲ	7人	2.0時間	<p>リーダーレベルⅢ到達のために、事例を通して4つの力を学習し実践に活用できる</p> <p>急変を予測するための視点を学ぶ。また、救命救急場面におけるリーダーシップについて学ぶ。</p>
【2年目必須】フィジカルアセスメントⅡ-③	10月3日	リーダーⅠ～Ⅱ	33人	2.0時間	<p>【フィジカルねらい】</p> <p>バイタルサインと患者の身体所見を合わせ、症状・徴候を評価し、看護ケアを考えることができる</p>
	10月31日		34人		
CVC管理実施登録更新研修	10月10日	リーダーⅠ～Ⅴ	19人	1.0時間	<p>「中心静脈カテーテル挿入と管理マニュアルVer.9.3(令和5年1月版)」に則って、中心静脈(CVC)カテーテル管理の実施者に対し、必要な知識教育や技術更新研修を行う</p>
	10月24日		11人		
	11月28日		28人		
	12月5日		41人		
	12月19日		46人		
	1月16日		59人		
	1月30日		34人		

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
BLS技術更新	10月13日	ラダーⅡ～Ⅲ	20人	1.0時間	心肺停止時に適切な心肺蘇生を行うことができる 1.緊急時に応援を呼ぶことができる 2.心肺蘇生を開始することができる 3.AEDを安全に使用することができる
	10月27日		16人		
	11月10日		22人		
	11月17日		20人		
	12月22日		15人		
	1月12日		14人		
	1月26日		12人		
	2月2日		19人		
	12月4日		12人		
12月27日	16人				
【オンデマンド】急変の予測と救命救急場面の対応	10月20日	ラダーⅠ～Ⅴ	5人	2.0時間	ラダーレベルⅢ到達のために、事例を通して4つの力を学習し実践に活用できる 急変を予測するための視点を学ぶ。また、救命救急場面におけるリーダーシップについて学ぶ。
	12月14日		4人		
【特定行為研修:オンデマンド】呼吸困難	11月1日	ラダーⅠ～Ⅴ	6人	1.0時間	特定行為研修で使用しているフィジカルアセスメント、臨床推論、疾病・臨床病態概論のe-learningを通して学習し、実践に活用することができる ・呼吸困難の鑑別疾患について学ぶ
	12月26日		26人		
【特定行為研修:オンデマンド】肺炎	11月8日	ラダーⅠ～Ⅴ	7人	1.0時間	特定行為研修で使用しているフィジカルアセスメント、臨床推論、疾病・臨床病態概論のe-learningを通して学習し、実践に活用することができる ・肺炎の定義、診断、重症度の評価、起炎菌の同定、治療、予防について学ぶ
	12月15日		29人		
【看護管理者】①看護管理者の医療安全管理研修	11月14日	看護管理者	29人	2.0時間	医療安全管理事例の分析方法を学び、部署におけるリスクマネージャーとしての活動に活かすことができる
【特定行為研修:オンデマンド】身体診察基本手技	11月14日	ラダーⅠ～Ⅴ	32人	1.0時間	特定行為研修で使用しているフィジカルアセスメント、臨床推論、疾病・臨床病態概論のe-learningを通して学習し、実践に活用することができる ・身体診察の基本的な診察手技について学ぶ
	12月22日		16人		
フィジカルアセスメントⅢ 上級編	11月16日	ラダーⅡ～Ⅲ	41人	3.5時間	1. 急変に結び付く危険な兆候に気づき、患者の状態を正しく把握することができる 2. 演習を通して急変時の初期対応について学ぶ 1. 『危険な兆候(キラースイグナル)』に気づき、フィジカルイグザミネーションを用いたアセスメントができる 2. 迅速評価、一次評価、二次評価の方法について理解する 3. 患者の変化をISBARCを用いて報告できる 4. 演習を通して患者状態の評価・報告・初期対応までの流れを体験する
BLSIV「急変時対応 発見から蘇生まで」	11月21日	ラダーⅢ～Ⅴ	16人	3.5時間	急変対応に関する指導的役割が担える 1. JRC2020ガイドラインに基づいた、急変時の初動対応ができる 2. 院内急変対応の指導方法を理解し、課題を共有することができる
【特定行為研修:オンデマンド】全身状態とバイタルサイン	11月22日	ラダーⅠ～Ⅴ	28人	1.0時間	特定行為研修で使用しているフィジカルアセスメント、臨床推論、疾病・臨床病態概論のe-learningを通して学習し、実践に活用することができる ・全身状態とバイタルサインの関連について学ぶ ・致命的胸痛を想起し、鑑別を意識した病歴聴取と検査の組み立てについて学ぶ
看護助手 BLS技術更新	12月13日	助手	86人	.5時間	心肺停止時に適切な心肺蘇生を行うことができる 1.緊急時に応援を呼ぶことができる 2.心肺蘇生を開始することができる 3.AEDを安全に使用することができる
災害看護(公開研修)	1月24日	ラダーⅠ～Ⅴ	21人	3.5時間	災害時の地域特性を理解し、病院施設の対応がわかる 1.災害医療・災害看護の基礎知識を理解する 2.災害発生時の病院施設の役割を理解する 3.ハザードマップを使用し、地域特性を理解する 4.災害発生時の初期対応がわかる
【看護管理者】②看護管理者の医療安全管理研修	1月30日	看護管理	17人	2.0時間	医療安全管理事例の分析方法を学び、部署におけるリスクマネージャーとしての活動に活かすことができる

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
BLS技術更新	2月16日	ラダーⅠ～Ⅴ	9人	1.0時間	心肺停止時に適切な心肺蘇生を行うことができる 1.緊急時に応援を呼ぶことができる 2.心肺蘇生を開始することができる 3.AEDを安全に使用することができる
放射線部新採用職員 医療安全研修	4月5日	新採用職員	1人	1時間	患者確認方法、インシデント、ドクターコール、感染対策等、放射線部内で運用されている事項の研修
感染対策・手洗い講習	5月16日	新採用職員 放射線部職員	8人	1時間	感染対策方法(ガウンテクニックと手洗い方法について)
危険予知トレーニング	6月29日	新採用職員	1人	1時間	一般撮影室における危険予知トレーニング
災害時避難訓練	7月11日	一般撮影担当 放射線技師	14人	1時間	一般撮影室における災害時避難訓練(1回目)
MR磁場体験	7月12日 11月29日	看護師他	14人 12人	1時間	MR検査室内の強力な磁場を体験し、患者の安全を確保する
災害時避難訓練	8月22日	一般撮影担当 診療放射線技師	14人	1時間	一般撮影室における災害時避難訓練(2回目)
災害時避難訓練 患者急変時訓練	11月14日	医師・看護師・ 診療放射線技師	20人	1.5時間	CT検査室における災害時避難訓練・患者急変時訓練
災害時避難訓練	12月6日	医師・看護師・ 診療放射線技師	18人	1時間	透視検査室における災害時避難訓練・患者急変時訓練
災害時避難訓練	12月14日	医師・看護師・ 診療放射線技師	30人	1時間	地下2階放射線部合同災害時避難訓練
災害時避難訓練 患者急変時訓練	12月15日	医師・看護師・ 診療放射線技師	16人	1.5時間	血管撮影室における急変時訓練
危険予知トレーニング	1月30日	新採用職員	1人	1時間	安全確認ポイントの確認。新採用職員のヒヤリハット事例紹介
RI規制法に係る業務 従事者の教育訓練	1月4日～2月29日 (e-Learning)	RI・治療・小線 源治療室にお いて放射線取 扱業務に従事 する者	114人	1時間	放射性同位元素を安全に使用するための知識・安全講習
特定放射性同位元素 防護 従事者のための 教育訓練(継続者対 象)	11月17日～1月31日 (e-Learning)	特定放射性同 位元素に関す る従事者	15人	2時間	特定放射性同位元素を安全に使用するための知識・医療安全演習

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新入職者入職時研修	4月1日～3月31日 (e-Learning)	研修医・看護師 ・薬剤師・その他医療職員	383人	—	医薬品の安全管理
研修医オリエンテーション	4月1日～4月30日 (e-Learning)	研修医	68人	—	麻薬の取り扱いについて
新人看護師研修	4月14日	看護師	63人	60分	ハイリスク薬について
血管確保研修	6月12日	看護師	61人	60分	薬剤の基礎知識と管理
補助循環装置 定期研修第1回	7月1日～10月31日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	177人	e-Learning/ 資料配布	ECMO・IABP・IMPELLA概要、機器・材料配置状況
補助循環装置 定期研修第2回	11月1日～2月29日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	177人	e-Learning/ 資料配布	IABP装置CARDIO SAVE概要、取り扱い説明、トラブルシューティング
人工呼吸器 定期研修第1回	7月1日～10月31日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	186人	e-Learning/ 資料配布	当院における機器配置状況、トラブル事例紹介
人工呼吸器 定期研修第2回	11月1日～2月29日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	183人	e-Learning/ 資料配布	ポータブル人工呼吸器の取り扱い説明
血液浄化装置 定期研修第1回	7月1日～10月31日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	188人	e-Learning/ 資料配布	HD原理、トラブルシューティング
血液浄化装置 定期研修第2回	11月1日～2月29日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	187人	e-Learning/ 資料配布	CHDFの原理、TR-2020と55Xシリーズの違い
除細動装置 定期研修第1回	7月1日～10月31日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	239人	e-Learning/ 資料配布	除細動器使用方法、トラブル対応
除細動装置 定期研修第2回	11月1日～2月29日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	236人	e-Learning/ 資料配布	除細動概要、トラブル対応
閉鎖式保育器 定期研修第1回	7月1日～10月31日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	88人	e-Learning	閉鎖式保育器概要
閉鎖式保育器 定期研修第2回	11月1日～2月29日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	83人	e-Learning/ 資料配布	閉鎖式保育器概要、トラブル対応
麻酔器 定期研修第1回	7月1日～10月31日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	56人	e-Learning/ 資料配布	麻酔器概要、Atlan A350使用方法
麻酔器 定期研修第2回	11月1日～2月29日 (e- Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	59人	e-Learning/ 資料配布	麻酔器使用方法、トラブル事例紹介

2 センター病院

研修区分	開催	対象	参加数	時間	内容
1 新採用職員研修	4/5	新採用職員	160人	1.5時間	感染対策の基本(感染制御部) 医療安全について(医療の質・安全管理部) 病院で働くうえでのマナー、個人情報取り扱い等(人事担当)
2 新人薬剤師研修	4/5	薬剤師 (新採用)	10人	1時間	昨今の医療安全に関するトピックス、Safety-1、Safety-2の考え方について 講師:勝亦秀樹
3 医療機器安全使用研修	4/5	理学療法士 (新採用)	1人	1時間	訓練室内の医療機器(トレッドミル、コードレスバイク、セラフィットプラス、テイルテーブル、電動ベッド、平行棒、歩行荷重計、等尺性筋力測定器)についての使用説明:担当 下田 圭人
4 新採用看護職員研修 オリエンテーション・集合研修	4/5-4/7 4/10 4/12	看護師 (新採用)	85人	7.5時間 /回	看護部組織、理念、勤務体制、倫理、接遇、個人情報管理、教育プログラム、組織における役割・心構えと行動について、業務管理、防災・災害管理、安全管理、感染管理、情報管理、メンタルヘルス、PNS、院内感染、ナースングサポート視聴・ナースナビゲイダンス・静脈認証 講義・演習 講師:金子看護部長・副部長(徳永・小川・三浦・藤谷・十文字・永野)・白濱所長・精神看護専門看護師(若杉)・感染看護専門看護師(辻田) 担当:教育・実習担当
5 新採用職員研修 放射線部①	4/5-4/7	診療放射線技師 (新採用)	3人	2.5日	講義と実習 ・放射線部のクレドについて:廣野圭司(放射線部技師長) ・病院・放射線部門の概要について:真野陽貴(放射線部担当係長) ・個人情報管理について:宮内敦由(放射線部担当係長) ・放射線部の安全管理について:宮内敦由(放射線部担当係長) ・患者接遇体験:片山巧、樋口なおと(診療放射線技師) ・医療人としての心得:片山巧、樋口なおと(診療放射線技師) ・感染対策について:手洗い実習:辻田看護師(感染制御部看護師)
6 リハビリテーション部 リスクマネージメントに関する研修	4/7	理学療法士 (新採用)	1人	0.75時間	リスクマネージャーから臨床上、業務上のリスクマネージメントについて:担当 坂本 安令
7 新採用者研修(臨床検査部)	4/7	臨床検査技師 (新採用)	1人	0.5時間	講義:「検査部門の感染対策」 講師:感染制御担当臨床検査技師 大河原 愛
8 センター病院における高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価の審査体制	4/8-4/30	全職員	490人	e-Learning	当院における高難度新規医療技術評価及び未承認新規医薬品等評価の体制について周知・理解を促す。
9 新入職員研修 医事課	4/10 4/18	診療支援担当 診療情報管理担当 医事管理担当	7人	0.5時間	安全ボックスを用いた研修
10 ECMO関連	4/11	医師	10人	1時間	GICU医師ハンドクラック研修、講師:ME鈴木
11 蘇生講習会	4/12	臨床工学技士	81人	0.5時間	BLS(AED)の使用法を含む講習会、講師:田村
12 ビジネスマナー研修	4/17	医療技術職	15人	3時間	患者対応、教職員間対応に必要な言葉遣い、電話対応、メールマナーなどを学ぶ
13 インシデントの事例周知(全部署)	4/22	臨床検査技師 看護師	79人	0.5時間	各検査室別に過去のインシデントのうち重要周知事例、周知を要した昨年度事例を事例・要因、対策、周知を記載したものを閲覧、ミーティング時間に説明を実施、アンケートや振り返りを実施し、再発防止に取組んだ。4/22から2か月の間にすべての部署で実施した。
14 CVC講習会①	4/24	医師	26人	1時間	中心静脈カテーテル挿入・留置に関する講義およびシミュレーターを使った講習 講師:麻酔科 佐藤仁/淵田 瑛
15 ECMO関連	4/25	医師	4人	1時間	循環器内科 救命 ecmo導入シミュレーション 講師:桐ヶ谷
16 その他医療機器	4/27	看護師	4人	0.5時間	NICU Arctic Sun勉強会、講師:メーカー
17 薬剤部業務報告会	4/27	薬剤師	25人	0.25時間	2022年度「薬剤部×医療安全」報告
18 人工呼吸器関連	4/28	看護師	31人	0.5時間	10-1病棟 NHF勉強会、講師:澤田
19 センター病院医療安全基本の5問(2023年度版)	5/1-3/31	全職員	2082人	e-Learning	医療安全に関する院内ルールの確認(3月末時点100%)
20 e-Learning「感染管理コンテンツ」 感染対策の基本と院内ルール2023	5/1-5/30	全職員	2065人	e-Learning	感染対策の基本と院内ルール2023
21 人工呼吸器関連	5/1	医師	7人	0.5時間	MONNAL T60麻酔科向け 講師:メーカー
22 復職者研修	5/1	診療放射線技師	1人	1日	講義 ・産休・育休期間中の放射線部のあゆみ:中村康彦(放射線部課長補佐) ・安全管理と個人情報保護:中村康彦(放射線部課長補佐) ・係方針と業務管理(配置と休暇等):中村康彦(放射線部課長補佐)
23 新採用職員研修 放射線部②	5/1	診療放射線技師	4人	0.5日	講義 ・放射線部のあゆみ:宮内敦由(放射線部担当係長) ・安全管理と個人情報保護:宮内敦由(放射線部担当係長) ・係方針と業務管理(配置と休暇等):各担当係長(放射線部担当係長)
24 (医療機器導入時研修会) 放射線治療装置および放射線治療計画システムの安全な取り扱い	5/2 5/9	診療放射線技師	57人	1時間	プログラム 1.放射線治療装置導入時のコンセプト:黒田周児(診療放射線技師) 2.安全な利用と取り扱い 放射線治療装置 :バリアンメディカルシステムズ 塩路浩昭 3.放射線治療計画システム導入時のコンセプト :井上耕介(診療放射線技師・医学物理士) 4.安全な利用と取り扱い 放射線治療計画システム :バリアンメディカルシステムズ 横山健一 (オンデマンド有:5/15~6/30)
25 BLS研修	①5/8 ②5/29 ③6/5	薬剤部職員 (薬剤師、事務)	44人	1時間/回 ×3回	シミュレーターを用いた、一次救命処置技術の確認
26 令和5年度新採用者放射線業務従事者講習会	5/11-5/17	診療放射線技師	7人	0.5時間	プログラム(動画視聴) 1.放射線の人体への影響:浅川久(放射線部・放射線管理委員会) 2.透視・血管撮影室における従事者の放射線防護について :山口聖(放射線部) 3.放射線障害予防に関する法令・規則:中村康彦(放射線取扱主任者)
27 新人採用者:BLS	5/12	看護師	85人	6時間	一時救命処置技術を習得する 講義・デモンストレーション・演習 講師:救急看護認定看護師 藤田玲、伊藤里香、富樫由香里 集中ケア認定看護師 関本 広美 院内BLSインストラクター:郷原理恵子、中嶋彩紀子、 担当:教育・実習担当
28 人工呼吸器関連	5/16	医師 看護師	8人	0.5時間	ヴァイフューザー新規導入研修 講師:メーカー
29 除細動器勉強会	5/16	看護師	19人	0.5時間	8-1 Ns除細動器勉強会 講師:池田
30 植込デバイス関連	5/18	臨床工学技士	17人	0.5時間	SonRtip リード 講師:メーカー
31 新採用者研修:12誘導心電図	①②5/18 ③5/25	看護師	85人	3時間/回 ×3回	12誘導心電図の基本的知識を理解し装着を習得する 講義・演習 講師:慢性心不全看護認定看護師 長根真由美 教育委員 担当:教育・実習担当 庄司
32 新人看護師研修	①5/18 ②5/25	看護師(新人)	85人	1.5/回 ×2回	ハイリスク薬に関する基本的知識やリスクを理解する ハイリスク薬の管理方法を理解する ハイリスク薬を安全に管理、使用する方法を学ぶ

研修区分	開催	対象	参加数	時間	内容
33 医療安全論文抄読会	5/19	薬剤師	10人	1時間	医療安全についての英語論文を読み知識を習得する
34 その他医療機器勉強会	5/24	臨床工学技士	5人	0.5時間	13-2輪液ポンプ勉強会、講師:木村、田村、小宮、山本、吉田
35 ECMO関連	5/25	医師、看護師、臨床工学技士	10人	0.5時間	初療 腹臥位シミュレーション、講師:Dr.古口
36 フィジカルアセスメントⅠ ①循環の異常 ②呼吸の異常	①5/25 ②6/8	看護師 (キャリアラダーレベルⅡ相当、Ⅱを目指す人)	①18人 ②14人	1時間/回 ×2回	基本的な呼吸・循環のフィジカルアセスメントを理解し、急変の回避や患者に合わせたケアにつなげることができる 講義・演習 講師:集中ケア特定認定看護師、井上美紀子 救急看護認定看護師 伊藤里香 担当:教育・実習担当 庄司
37 CVC講習会②	5/29	医師対象	31人	2時間	中心静脈カテーテル挿入・留置に関する講義およびシミュレーターを使った講習 講師:高度救命救急センター岩下/心臓血管センター内科 桐ヶ谷/麻酔科 淵田瑛
38 N95マスクフィットテスト①	5/30	医療従事者	34人	0.5時間	「N95マスクフィットテスト」 講師:感染制御担当課長・副看護部長十文字美代子 感染制御担当看護師 辻田佳小里
39 血液浄化関連	5/31	看護師	4人	0.5時間	GICU TR2020勉強会、講師:加藤、村瀬
40 医療機器の安全使用	6/1-6/30	医療職	1636人	e-Learning /資料配布	除細動器①・パルスオキシメータ
41 医薬品安全に関する研修②	6/1-6/30	医師 研修医	382人	e-Learning (0.25時間)	院内院外処方箋におけるPBPM(Protocol Based Pharmacotherapy Management)運用について
42 看護技術:静脈穿刺	6/1-6/30	看護師 (新採用)	83人	1.5時間	血管確保技術を理解し、手順を学ぶことができる 講義:映像教材視聴 部署で実技演習 映像教材講師:業務担当師長 吉水肇子 アドバイザー:各部署教育委員 担当:教育・実習担当 庄司
43 人工呼吸器関連	6/5	看護師	7人	0.5時間	13-2 Savina300勉強会、講師:澤田、高木
44 看護部 感染対策研修	①6/6 ②7/6	看護師	51人	1時間/回 ×2回	「感染予防看護～感染による合併症を予防するケア～」 講師:感染制御担当看護師 辻田佳小里
45 感染対策の予防看護 ～感染による合併症を予防するケア～	①6/6 ②7/6	看護師 (キャリアラダーⅢ相当、Ⅲを目指す人)	48人	1時間/回 ×2回	適切な感性リスクのアセスメント、対策を実施し、部署で推進役割をとることができる 講義 講師:感染症看護専門看護師 辻田佳小里 担当:教育・実習担当 庄司
46 未承認新規医薬品等評価の体制	6/8-6/30	全職員	1522人	e-Learning	当院における未承認新規医薬品等評価の体制について、周知・理解を促す。
47 令和5年度第1回医療安全講演会	6/8	全職員	98人	1時間	演題:医療安全推進に向けた薬剤部・薬剤師の取組 講師:市民総合医療センター 薬剤部 佐橋/小杉
48 移乗講習会	6/8	全職員	10人	1時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義 講義担当:望月英樹
49 血液浄化関連	6/13	看護師	6人	0.5時間	CCU新人向けHD 勉強会、講師:千葉
50 フィジカルアセスメントⅡ ①循環不全②呼吸不全③中枢神経アセスメント	6/13 6/27 7/3	看護師 (キャリアラダーレベルⅢを目指す人)	①22人 ②22人 ③16人	1時間/回 ×3回	循環のフィジカルアセスメントを学び、循環に異常のある患者のケアにつなげることができる 呼吸のフィジカルアセスメントを学び、呼吸に異常のある患者のケアにつなげることができる 中枢神経のフィジカルアセスメントを学び、意識障害のある患者のケアにつなげることができる 講義 講師:クリティカルケア認定看護師 井上美紀子 集中ケア認定看護師 三瀬留理子 救急看護認定看護師 藤田玲 担当:教育・実習担当 庄司
51 血液浄化関連	6/15	医師	7人	0.5時間	GICU医師 CHDF勉強会、講師:田村
52 薬剤部業務報告会	6/15	薬剤部職員	26人	0.25時間	昨年度のインシデントを踏まえて
53 移乗講習会	6/16	全職員	13人	1時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義 講義担当:中山実優
54 新採用職員スキルアップ研修1 患者移乗動作実習	6/16	診療放射線技師	6人	1時間	車椅子・ベッドから検査台への移乗方法の講義 藤浦 達(リハビリテーション理学療法士)
55 人工呼吸器関連	6/20	看護師	11人	0.5時間	アイノフローDS 開始対応勉強会、講師:植木、小宮、吉田
56 急変時対応訓練	6/21	検査技師 看護師	9人	1時間	採血室での急変者に対応すべき内容を明確にし、診療科へ引継ぎつつ電子カルテに記録を残す事が確実に対応できるよう実施した。
57 人工呼吸器関連	6/28	看護師	29人	0.5時間	CCU NPPVマスク装着勉強会、講師:メーカー
58 人工呼吸器関連	6/28	看護師	20人	0.5時間	9-1 ePM10&Savina300勉強会、講師:小宮
59 CT室:患者急変時訓練	6/29	医師 看護師 診療放射線技師	27人	2時間	造影剤投与後の急性アレルギー患者に対するシミュレーション訓練
60 ECMO関連	6/30	医師 看護師	15人	1時間	初療 ECMOトラブルシューティング、講師:職員(医師、看護師、臨床工学技士)
61 清掃委託職員 研修①	6/30	清掃委託職員	21人	0.5時間	「感染対策の基本」 講師:感染制御担当課長・副看護部長十文字美代子 感染制御担当看護師 辻田佳小里
62 第1回TeamSTEPS研修	7/5	全職員	18人	1.5時間	個人と組織のコミュニケーションとチームワークスキルを改善し、施設の医療安全を強力に推進する研修
63 CVC管理の指導者	①7/5 ②7/18 ③7/19 ④7/26	看護師	94人	1.5時間/回 ×4回	CVC管理の原理原則を踏まえた上で安全な看護技術を習得し、部署で役割モデルを発揮する 講義・演習 講師:医療の質・安全管理部 永野由美 担当:各員会担当看護師長
64 人工呼吸器関連	7/7	医師	41人	0.5時間	EICU AVEA 経肺圧勉強会、講師:メーカー
65 人工呼吸器関連	7/11	看護師	20人	0.5時間	12-1 Trilogy EVO勉強会、講師:澤田
66 人工呼吸器関連	7/12	看護師	22人	0.5時間	8-2 Savina300勉強会、講師:澤田、高木
67 リーダーナースの急変予兆・ACLS	7/13 9/25	看護師 (新規にリーダー役割を担う人、リーダー経験の浅い人 キャリアラダーレベルⅢを目指す人)	32人	7時間	急変予兆の予兆に気づくことができ、リーダーとしての対応ができる。急変時に医療チームの一員としての役割を理解し、急変時のコミュニケーション能力向上へつなげる。 講義・グループワーク・シミュレーション 講師:救急看護認定看護師 藤田玲、伊藤里香 富樫由香里 集中ケア特定認定看護師 井上美紀子 クリティカルケア認定看護師 三瀬留理子 担当:教育・実習担当 庄司
68 フレイル・嚥下機能アセスメント	7/14	看護師 (キャリアラダーレベルⅡ相当、Ⅱを目指す人)	16人	1時間	高齢者特有のフィジカルアセスメントを理解し、高齢者の嚥下機能を含めたフレイルの評価がわかる 講義 講師:摂食嚥下障害看護認定看護師 古木龍一 老人看護専門看護師 志岐亮介 担当:教育・実習担当 庄司
69 新採用看護師対象勉強会	7/18	看護師	10人	2時間	新採用看護師対象勉強会 輸液・シリンジポンプ 酸素ボンベ、講師:木村、山本、澤田、中元
70 新入職員研修	7/18	請求調整担当 新入職員	1人	0.5時間	安全ポッケを用いた研修
71 植込デバイス関連	7/26	看護師	4人	0.5時間	CCU 新人研修会(心臓電気デバイス)、講師:村瀬、田村

研修区分	開催	対象	参加数	時間	内容
72 安全管理・CVC管理	①②7/27 ③7/28	新採用 看護師	80人	3時間/回 ×3回	CVC管理に関する原理原則をふまえた安全な看護技術の実施へつなげる 講義・演習 講師:医療の質・安全管理部 永野由美 演習:各部署教育委員 担当:教育・実習担当 庄司
73 血管確保の指導者研修	①7/27 ②8/3 ③8/31 ④9/25	看護師	77人	各回1時間 ×4回	対象:血管確保ブラッシュアップ研修指導者として推進することができるもの 内容:血管確保保持指導者として、部署内の「血管確保ブラッシュアップ研修」を推進するための知識・技術を習得する 講義・演習 担当:業務担当 吉水輩子、業務委員担当部長
74 安全コンテンツ各論:説明と同意 ～実際の相談事例から学ぶ～必須	7/1-3/31	全職員	2082人	e-Learning	インフォームドコンセント(説明と同意)の適切な実施に必要な知識習得(3月末時点100%)
75 医療機器の安全使用	7/1-7/30	医療職	1570人	e-Learning /資料配布	人工呼吸器①
76 高難度新規医療技術を導入する際の体制	7/5-7/31	全職員	1505人	e-Learning	当院における高難度新規医療技術導入・評価の体制について、周知と理解を促す。
77 人工呼吸器関連	8/1	看護師	22人	0.75時間	9-1 成人用NHF勉強会、講師:植木
78 委員会主催マナー研修	8/1	診療放射線技師 (新採用・有期雇 用職員)	6人	65分	座談会 ・ビジネスマナー(報連相、挨拶、身だしなみ)に関するディスカッション コメンテーター:出川 輝浩、樋口 なおと、長峰美桜
79 医療機器の安全使用	8/1-8/31	医療職	350人	e-Learning /資料配布	保育器①・HFT
80 医療機器の安全使用	8/1-8/31	医療職	376人	e-Learning /資料配布	血液浄化①
81 AST研修	8/1-8/31	医師 看護師 コメディカル	1284人	e-Learning	感染症診療2023-培養検査編- 「培養をどうしよう！」
82 AST研修	8/1-8/31	医師 看護師 コメディカル	1301人	e-Learning	感染症診療2023-抗菌薬編- 「抗菌薬適正使用について～耐性菌を作らないための考え方～」
83 第2回TeamSTEPS研修	8/2	全職員	29人	1.5時間	個人と組織のコミュニケーションとチームワークスキルを改善し、施設の医療安全を強力に推進する研修
84 新採用者看護職員研修 ①フィジカル入門循環 ②フィジカル入門呼吸・中枢神経 ③看護技術:薬剤の取扱い	①8/2 ②③8/31	新採用 看護師	82人	3時間/回 ×3回	①呼吸器・循環器系・中枢神経系の基本的な知識・技術を習得し、安全な看護に繋げる 講師:慢性心不全看護認定看護師 根根 真由美 集中ケア特定認定看護師 井上美紀子 ②ハイリスク薬について正しい知識やリスクを理解する 講師:薬剤担当係長 宇野洋司 担当:教育・実習担当 庄司
85 看護技術:輸血療法について	①8/2 ②③8/31	新採用 看護師	82人	0.5時間/回 ×3回	講義 講師:野崎昭人 担当:教育・実習担当 庄司
86 薬剤部業務報告会	8/10	薬剤部職員	24人	0.25時間	副作用報告に至った統合失調症の症例
87 KYT研修(輸血部)	8/18	検査技師	6人	0.5時間	運用を変更したあとの潜在的に潜むリスクを検討し共有した。
88 新採用職員フォローアップ研修 他職種を知るNs編	8/18	診療放射線技師 (新採用・ 有期雇 用職員)	7人	0.5時間	講義:「スペシャリストから学ぶ! 看護師編 ～看護師の仕事とチーム医療を学ぶ～」; 富樫 由香里(救命後方病棟看護 師)
89 MRSafetyforum	8/23	診療放射線技師	6人	1時間	MR検査を安全に実施するための基礎知識と対応方法
90 胸腔ドレーン①初級編②上級編	①8/28 ②9/27	看護師	①20人 ②13人	1時間/回 ×2回	胸腔ドレーンの原理やリスクを理解し、安全な看護実践へつなげる。 講義・演習 講師:救急看護認定看護師 伊藤里香 担当:教育・実習担当 庄司
91 BLS研修3ヶ月フォローアップ研修	①8/28 ②9/4 ③10/2	薬剤師	24人	0.25時間/回 ×3回	シミュレーターを用いた、一次救命処置技術の確認
92 MR磁場体験	①8/30 ②9/11 ③10/25 ④11/29	全職員	26人	1時間/回 ×4回	安全なMR検査を行うため ・MR検査室内で発生している磁場についてスライドを用いて説明 ・吸引力・体内金属について研修する。
93 血液浄化関連	9/1	看護師	25人	1時間	EICU TR2020勉強会、講師:加藤
94 医療機器の安全使用	9/1-9/30	医療職	311人	e-Learning /資料配布	補助循環①
95 第3回TeamSTEPS研修	9/6	全職員	26人	1.5時間	個人と組織のコミュニケーションとチームワークスキルを改善し、施設の医療安全を強力に推進する研修
96 新採用者集合研修 「総合演習～多重課題:こんな時、どうしてる?」	①9/8 ②③9/22	新採用 看護師	81人	3時間/回 ×3回	正しい知識を基に正確かつ安全な看護技術を提供することができる 演習アドバイザー:教育委員、教育担当看護師 担当:教育・実習担当 庄司
97 除細動器導入勉強会	9/8	臨床工学技士	8人	0.5時間	ME向け フクダ電子製除細動器導入勉強会、講師:メーカー
98 人工呼吸器関連	9/19	臨床工学技士	22人	0.5時間	在宅呼吸器LUSA勉強会、講師:メーカー
99 人工呼吸器関連	9/20	医師	9人	0.5時間	NICU MONNAL T60勉強会、講師:メーカー
100 薬剤部業務報告会	9/21	薬剤部職員	23人	0.25時間	院内PBPM(調剤室分)の現状と今後
101 一般撮影室:接遇検討ロールプレイング 「胸腹部撮影」	①9/21 ②9/25	診療放射線技師	各12人	1時間/回 ×2回	胸腹部撮影でのロールプレイング(技師役・患者役)とディスカッションを通じ、接遇と安全な患者対応、ルート管理等について問題点と改善点を検討する。
102 第4回TeamSTEPS研修	9/26	全職員	25人	1.5時間	個人と組織のコミュニケーションとチームワークスキルを改善し、施設の医療安全を強力に推進する研修
103 放射線治療室リスクマップ中間期振り返り	9/26	診療放射線技師	7人	1時間	放射線治療室における「レベル0インシデント」の傾向と対策立案 リスクマップの作成
104 薬剤部業務報告会	9/28	薬剤部職員	26人	0.25時間	調剤ミス集計について
105 ゼロインシデント収集から作成したリスクマップ 中間期振り返り	9/28	診療放射線技師	38人	1時間	部内各撮影室&治療室における「レベル0インシデント」の傾向と対策立案 リスクマップの作成の効果と評価
106 医療機器の安全使用	10/1- 10/31	医療職	1107人	e-Learning /資料配布	除細動器②・NHF
107 放射線安全利用の基礎	10/1- 10/31	放射線診療に関わる 医師 看護師 薬剤師 診療放射線技師	1578人	e-Learning	1.患者の医療被ばくの基本的な知識及び考え方に関すること 2.放射線診療の正当化に関すること 3.患者の医療被ばくの防護の最適化に関すること 4.放射線の過剰被ばくその他の放射線診療に関する事例発生時の対応に関すること
108 安全コンテンツ各論患者確認 -同定と照合・患者参加-	10/1-3/31	全職員	2073人	e-Learning	説明と同意を実際の相談事例から学ぶ
109 個人情報及び特定個人情報に関する所属研修	10/5- 10/31	全職員必須	1750人	e-Learning	令和5年4月から施行となった個人情報の保護に関する法律・横浜市個人情報保護に関する条例の改正に伴う変更点等のほか、漏えい事故の事例とその対策等から個人情報の適切な取扱いについて
110 KYT研修	10/6	患者総合サポート センター職員	7人	0.5時間	患者誤認事例

研修区分	開催	対象	参加数	時間	内容	
111	CVポート管理研修	①②10/10 ③11/1	全部署該当者	22人	0.75時間/回 ×3回	CVポートの知識を習得し、安全な穿刺・管理ができる 講義・演習 講師:放射線診療科医師 関川善二郎 地域連携室 和田伸子 阿崎真智子 担当:業務担当部長 吉水輩子 がんゲノム医療・地域がん連携担当部長 池田恵理
112	人工呼吸器関連	10/11	臨床工学技士	4人	0.5時間	在宅HFT勉強会、講師:メーカー
113	血液浄化関連	10/12	臨床工学技士	4人	0.5時間	ME室 sepxiris勉強会、講師:メーカー
114	血管撮影室:患者急変時訓練	10/17	医師 看護師 臨床工学技士 診療放射線技師	27人	1時間	Ach負荷後にVFとなった患者に対するシミュレーション訓練
115	KYT研修(生理機能検査室)	10/19	検査技師	22人	0.5時間	患者誤認にテーマを決め4R法を実施。各個人で気を付けている事をあげ共有した。
116	人工呼吸器関連	10/26	看護師	22人	0.5時間	浄化室 ASTRAL勉強会、講師:メーカー
117	令和5年度第2回医療安全講演会	10/27	全職員	123人	1時間	演題:病院全体で取り組む 安全な業務改善,タスク/シフト 講師:NTT東日本 関東病院 村岡 修子 副看護部長
118	血液浄化関連	10/30	臨床工学技士	8人	0.5時間	ME室 血液浄化コスト電力化、講師:医事課職員
119	血液浄化関連	10/31	看護師	22人	1時間	血液浄化室 DCS-200S新規導入勉強会、講師:メーカー
120	人工呼吸器関連	10/31	臨床工学技士	22人	0.5時間	ME室 MONNAL T60勉強会、講師:メーカー
121	人工呼吸器関連	10/31	医師	23人	0.5時間	GICU UNIMO導入時研修会、講師:メーカー
122	KYT研修(検体検査室)	10/31	検査技師	21人	0.5時間	4R法にて実施。人員が少ない状況下で起こりうる危険を共有した。
123	人工呼吸管理	①10/31 ②12/12	看護師 (キャリアラダーレ ベルⅡⅢを目指す 人・レベル以外の 人も参加可能)	①11人 ②22人	1時間/回 ×2回	人工呼吸器患者に必要な観察が理解できる 講義 講師:救急看護認定看護師 伊藤里香 クリティカルケア認定看護師 三瀬 留理子 集中ケア認定看護師:平井律子 看護師長 担当:教育・実習担当 庄司
124	急変予兆	①②10/20 ③④11/17	看護師(2年目)	32人	各回3時間 ×4回	急変予兆の概念を理解し、フィジカルアセスメントの向上を目指す。 アセスメントに基づき急変の予兆を発見し、SBARに沿った報告ができる。 講義・グループワーク・シミュレーション 講師:救急看護認定看護師 藤田玲、伊藤里香、富樫由香里 集中ケア認定看護師 井上美紀子 クリティカルケア看護認定看護師 三瀬留理子 各部署教育委員 担当:教育・実習担当 庄司
125	医療機器の安全使用	11/1- 11/30	医療職	1557人	e-Learning /資料配布	人工呼吸器②
126	e-Learning「感染管理コンテンツ」 職員として知っておきたい就業制限が 必要な感染症と当院の対策 2023年度版	11/1- 11/30	全職員	2066人	e-Learning	職員として知っておきたい就業制限が必要な感染症と当院の対策 2023年度版
127	血液浄化関連	11/6	看護師	13人	1時間	HCU PE勉強会、講師:村瀬、井田
128	その他医療機器	11/6	臨床工学技士	4人	0.5時間	ME向け TR2020勉強会、講師:メーカー
129	災害シミュレーション	11/10	患者総合サポート センター職員	8人	0.5時間	患者総合サポートセンター部門のあるフロアにて、 発火を想定した避難誘導シミュレーション
130	安全管理②	①②11/10 ③11/29	看護師 (2年目)	52人	3時間/回 ×3回	日々の看護実践を安全に取組むため、意思を高める 講義・グループ ワーク 講師:医療の質・安全管理部 永野由美 担当:教育・実習担当 庄司
131	放射線部 半年間の振り返り ※安全に関する内容含む	11/14	診療放射線技師 (新採用・限定正 規職員)	10人	1時間	新人教育の研修の一環として座談会実施 ・半年間の振り返り コメンテーター:長峰、樋口、出川
132	除細動器	11/22	看護師	23人	0.5時間	10-1 フクダ除細動器勉強会、講師:メーカー、中元
133	血液浄化関連	12/1	看護師	17人	0.5時間	CCU CHDF勉強会、講師:ME 千葉
134	医療機器の安全使用	12/1- 12/31	医療職	1004人	e-Learning /資料配布	保育器②・HFV
135	医療機器の安全使用	12/1- 12/31	医療職	959人	e-Learning /資料配布	血液浄化②
136	BLS研修6ヶ月フォローアップ研修	①12/4 ②12/18	薬剤師	21人	0.25時間/回 ×2回	シミュレーターを用いた、一次救命処置技術の確認
137	嚥下食講習会	12/5	全職員	16人	1時間	院内で提供されている嚥下食について段階的な適応の学びと、実食体験 担当講師:長久保望美
138	一般撮影(骨): 患者急変・転倒時の対応について	12/14	診療放射線技師	12人	1時間	骨撮影室における患者急変・転倒時の対応をロールプレイとディスカッ ションを通じて共通認識を得る。全スタッフが急変時に対応できるように する。
139	その他医療機器	12/19	臨床工学技士	22人	0.5時間	ME室 iSTAT勉強会、講師:メーカー
140	ECMO関連	12/20	医師 看護師 研修医 放射線技師 臨床工学士	20人	1時間	初療 ECMOコールシミュレーション、講師:谷口
141	人工呼吸器関連	12/21	看護師	7人	0.5時間	CCU・8-1 Savina300・V60・NHF勉強会、講師:山本
142	人工呼吸器関連	12/22	看護師	39人	0.5時間	13-1 在宅呼吸器勉強会、講師:植木
143	薬剤部業務報告会	12/28	薬剤部職員	23人	0.25時間	PBPMIによるレジメン修正内容の解析
144	人工呼吸器関連	1/15	看護師	14人	0.5時間	NICU人工呼吸器、講師:NICU看護師
145	その他医療機器	1/19	看護師	12人	0.5時間	14F 心電計研修会、講師:メーカー
146	地域連携研修会感染症フォーラム	1/24	全職員	50人	1.5時間	「多剤耐性菌時代の感染症診療～目の前の患者も未来の患者も治す ために～」 講師:東邦大学医学部微生物・感染症学講座 准教授 原田壮平先生(院内8人、院外42人)
147	KYT研修(採血室)	1/24	臨床検査技師 看護師	12人	0.5時間	混雑時のリスク対策を話し合い、安全を先取りする力をつけられるよう4 R法で実施。
148	清掃委託職員 研修②	1/26	清掃委託職員	17人	0.5時間	「感染対策の基本・防護具着脱演習」 講師:感染制御担当課長・副看護部長十文字美代子 感染制御担当看護師 辻田佳小里
149	医療機器の安全使用	1/1-1/31	医療職	855人	e-Learning /資料配布	補助循環②
150	医薬品安全に関する研修③	1/1-1/31	全職員	1735人	E-learning (0.25時間)	医薬品に関する安全管理-規制医薬品の取扱い-
151	令和5年度放射線業務(診療)従事者講習会 医療機器安全取扱研修(放射線治療)	1/22-2/29	放射線業務 (診療)従事職員 診療放射線技師	55人	40分	プログラム(動画視聴) 1. 放射線の人体への影響 浅川久(放射線部・放射線管理委員会) 2. 透視・血管撮影室における従事者の放射線防護について 山口聖(放 射線部) 3. 放射線障害予防に関する法令・規則 宮内敦由(放射線取扱主任 者) 4. 放射線治療装置の安全な取扱い 樋口なおと(放射線部) 放射線治療室における「レベル0インシデント」の傾向と対策立案 リス クマップの作成
152	放射線治療室リスクマップ期末振り返り	2/2-2/16	診療放射線技師	12人	50分	12-1在宅呼吸器ASTRAL・VELIA勉強会、講師:メーカー
153	人工呼吸器関連	2/7	看護師	6人	0.5時間	13-1 サビーナ・e360勉強会、講師:植木
154	人工呼吸器関連	2/14	看護師	39人	2時間	講義 ・『スペシャリストから学ぶ! 医師編 ~救急の画像所見~』 :中村医師(放射線診断科 医師)
155	新採用職員フォローアップ研修 他職種を知るDr編	2/15	診療放射線技師 (新採用・限定正 規職員)	8人	1時間	

研修区分	開催	対象	参加数	時間	内容
156	アイソトープ検査室リスクマップ 期末 振り返り 研修	診療放射線技師	3人	0.5時間	アイソトープ検査室における「レベル0インシデント」の傾向と対策立案 リスクマップの作成
157	人工呼吸器関連	臨床工学技士	5人	0.5時間	ME NPPVマスク装着勉強会、講師：メーカー
158	植込デバイス関連	医師 臨床工学技士	16人	0.5時間	心腔内除細動器、講師：メーカー
159	BLS研修9ヶ月フォローアップ研修	薬剤師	20人	0.25時間/回 ×4回	シミュレーターを用いた、一次救命処置技術の確認
160	植込デバイス関連	臨床工学技士	9人	0.5時間	SSPC 中隔ベージング用ガイドカテーテル、講師：メーカー
161	嚥下食講習会	全職員	11人	1時間	院内で提供されている嚥下食について段階的な適応の学びと、実食体験 担当講師：佐藤里実
162	KYT研修(分子・微生物検査室)	検査技師	6人	0.5時間	4R法にて実施。安全性を先取りし、潜んでいる危険を減少させることで 事故が発生しにくい現場環境を作る事を実践した。
163	救急棟地下2階MR検査室患者急変時対応訓練	医師 看護師 診療放射線技師	25人	1時間	救急棟地下2階MR検査室で気分不快から挿管までを想定した対応訓練 を実施。実動訓練後にデブリーフィングを実施し、医師、看護師、放射線 技師にて緊急時の動きや薬剤の保管管理、ストレッチャーの動線につ いて検討する。
164	心肺蘇生講習会	①2/26 ②2/27 ③2/28 診療放射線技師 救急救命士	39人	70分/回 ×3回	心肺蘇生時の対応を救急救命士の指導の下、人体ファントム、AED、 バグバルブマスクを用いて初期対応から胸骨圧迫、AEDの使用法、 換気方法とタイミングについて一連の動作を研修する。
165	新採用職員研修	3/1 診療放射線技師 (有期雇用職員)	1人	0.5日	講義 ・放射線部のあゆみ：安藤聡志(放射線部担当係長)、宮内敦由(学術 教育委員会顧問) ・安全管理と個人情報保護：安藤聡志(放射線部担当係長)、宮内敦 由(学術教育委員会顧問) ・係方針と業務管理(配置と休暇等)：安藤聡志(放射線部担当係長)、 宮内敦由(学術教育委員会顧問)
166	個人情報保護定期研修	3/5-3/31 全職員必須	1528人	e-Learning	要配慮個人情報等について(漏えい事故の報告・事例・個人情報取扱 いルールの再確認)
167	コンプライアンス研修	3/5-3/31 全職員必須	1536人	e-Learning	セクハラを含む性暴力等の防止について
168	KYT研修(病理部)	3/12 検査技師	11人	0.5時間	4R法にて実施。危険に対する問題を全員で発見、把握、解決する事 を通じ明るい生き生きとした職場風土づくりを目指す。
169	令和5年度第3回医療安全講演会	3/14 全職員	66人	1時間	演題：「QI指標を活用した質改善の取り組み」 講師：東京医科歯科大学病院 医療安全管理部部長/病院長補佐工藤篤先生
170	ゼロインシデント収集から作成した リスクマップ期末振り返り	3/28 診療放射線技師	44人	10分	院内各撮影室&治療室における「レベル0インシデント」の傾向と対策 立案 リスクマップの作成の効果と評価
171	安全コンテンツ各論：転倒転落対策 ～予防を中心に～(2023年度版)	通年 全職員	2023人	e-Learning	転倒転落予防対策について周知する
172	中心静脈カテーテル挿入・留置に関する 安全管理(2023年度版)	通年 登録医(必須) 全職員(任意)	263人	e-Learning	中心静脈穿刺・カテーテル留置に関する院内ルール周知と安全な手技 に向けた知識の確認(認定医師用)
173	中心静脈カテーテル挿入・留置に関する 安全管理(2023年度版)：研修医	通年 研修医(必須) 全職員(任意)	176人	e-Learning	中心静脈穿刺・カテーテル留置に関する院内ルール周知と安全な手技 に向けた知識の確認(研修医用)
174	安全コンテンツ各論：死亡時の対応について	通年 医師(必修) 医療職(任意)	827人	e-Learning	死亡時の対応について
175	Rapid Response System(RRS)について知る	通年 全職員	619人	e-Learning	RRSのシステム理解と、院内活用のための運用方法周知と知識取得
176	Rapid Response System(RRS)からの心肺蘇生法	通年 全職員	2026人	e-Learning	全職員を対象に心肺蘇生の基礎に関する知識習得学び、改めて予防 の大切さを学ぶ
177	心肺蘇生法講習会(実技)	通年 全職員	1435人	0.5時間	心肺蘇生の基礎を人形・AEDを用いた実技にて学習する
178	心肺蘇生法講習会(動画)	通年 全職員	2024人	0.25時間	心肺蘇生の基礎を動画を用いて学習する
179	N95マスクフィットテスト②	通年 医療従事者	76人	0.5時間	「N95マスクフィットテスト」 講師：感染制御担当課長・副看護部長十文字美代子 感染制御担当看護師 辻田佳小里
180	医薬品安全に関する研修①	通年 医師 研修医	332人	e-Learning (0.25時間)	麻薬及び向精神薬取締法の概要、麻薬の特性、当院の麻薬に関する ルールを確認する。